

文教委員会報告資料

令和4年11月14日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 令和4年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について……………	2
(2) 令和4年度「足立区学力定着に関する総合調査」の調査結果(学習意識調査部分)について……………	5
(3) 第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について……………	15
(4) 足立区版「生命(いのち)の安全教育」の進捗状況について……………	24
(学校運営部)	
(5) 東湊江小学校施設更新事業に伴う建替え方針について……………	26
(6) 興本小学校拡張用地取得に関する交渉状況について……………	29
(7) 校外施設指定管理者評価結果について……………	30
(8) 足立区育英資金検討委員会の検討結果報告について……………	45
(子ども家庭部)	
(9) 「足立区子ども・子育て支援事業計画」の令和3年度評価について……………	52
(10) 都内23区における特別支援教育支援員対象の研修状況調査の報告について…	54

(教 育 委 員 会)

文教委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	令和4年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
所管部課名	教育指導部教育政策課
内容	<p>令和4年度足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下、「点検・評価」という）について、別添資料1のとおり報告書がまとまったので報告する。</p> <p>1 点検・評価の概要</p> <p>(1) 変更点</p> <p>ア 「足立区教育振興ビジョン点検・評価」を地教行法第26条に基づく「足立区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」として運用した。</p> <p>イ 「足立区教育振興ビジョン点検・評価」では毎年度全施策を対象に評価を実施するとしたが、より深く評価するため、(2)のとおり対象を絞って実施した。</p> <p>(2) 評価対象 足立区教育振興ビジョンの以下の施策に掲げる成果指標及び活動指標の令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施策1：児童・生徒の心身の健全な発達の支援 ・ 施策4：快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実 <p>(3) 実施時期：令和4年3月から8月にかけて評価を実施</p> <p>(4) 評価方法</p> <p>ア 自己評価 各所管は、戦略毎に成果指標及び活動指標の達成状況や課題の分析、今後の方向性について自己評価を行った。</p> <p>イ 外部評価 点検・評価委員は、各所管による自己評価やヒアリングを通して、戦略毎に観点別評価(4つの観点について7段階)及びこれに基づく全体評価(AからEまでの7段階)を行った。</p> <p>(5) 令和4年度点検・評価委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学齢期 石塚 等 (横浜国立大学 教職大学院 教授) ・ 就学前 齊藤 多江子 (日本体育大学 児童スポーツ教育学部 教授)

2 計画の進捗状況

令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、縮小・未実施となった事業があったが、達成度100%以上となった成果指標及び活動指標が、昨年度の約3割から15ポイント改善した。

表1 指標達成状況表〔()内は分布率〕

指標	達成度	100%以上	99%~50%	50%未満 (未実施等測定不可含む)
成果指標		40指標(46%)	43指標(50%)	4指標(4%)
活動指標		72指標(48%)	54指標(36%)	25指標(16%)

3 点検・評価委員による令和4年度評価概要

- (1) 全体評価は、昨年度と同様に最高でもB評価に留まった(7段階中上から3番目)。
- (2) 今回の評価では昨年度評価されたC⁻評価はなかった。
- (3) 今回から新たに観点として追加した「助言や今後の期待・要望への反映率」は平均4.8であった。
- (4) 観点2「目標・成果の達成状況」は「課題が見られる」の評価4以下となった戦略が67%を占めたが、3以下の評価となったものはなく、平均4.7と、昨年度の4.4を若干上回った。
- (5) 観点3「各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか」は平均5.3、観点4「児童・生徒にとって真に効果的か」は平均5.2と、全ての戦略で評価5以上となり、前回平均(それぞれ4.9と4.8)を上回った。

表2 観点別評価及び全体評価一覧
 観点：7から1までの7段階評価
 全体：AからEまでの7段階評価

施策名・戦略名	観点1 反映率	観点2 達成状況	観点3 方向性	観点4 効果的	全体	
					全体	全体 (前年)
【施策1】 児童・生徒の心身の健全な発達の支援						
戦略1 豊かな心の育成 【P.27】	5 ⁽⁻⁾	4 ⁽³⁾	6 ⁽⁵⁾	5 ⁽⁵⁾	B	C
戦略2 健やかな体の育成 【P.39】	5 ⁽⁻⁾	4 ⁽⁴⁾	5 ⁽⁵⁾	5 ⁽⁴⁾	C	C
【施策4】 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実						
戦略1 安全で環境に優しい施設整備 【P.47】	5 ⁽⁻⁾	6 ⁽⁵⁾	5 ⁽⁵⁾	6 ⁽⁵⁾	B	B
戦略2 適正規模・適正配置 【P.51】	5 ⁽⁻⁾	4 ⁽⁴⁾	6 ⁽⁵⁾	5 ⁽⁵⁾	B	B
戦略3 学校運営支援 【P.59】	4 ⁽⁻⁾	4 ⁽⁴⁾	5 ⁽⁴⁾	5 ⁽⁴⁾	C	C
戦略4 就学環境の整備 【P.67】	5 ⁽⁻⁾	6 ⁽⁵⁾	5 ⁽⁵⁾	5 ⁽⁵⁾	B	B
平均点	4.8 (-)	4.7 (4.4)	5.3 (4.9)	5.2 (4.8)		

()は別添資料1の該当ページを示す

()内は昨年度の数値。ただし、昨年度が評価初年度にあたることから観点1の実績はない。

	<p>4 点検・評価委員からの主な意見</p> <p>(1) 全体評価</p> <p>ア 自身の健康に関して、児童・生徒が適切な意思決定ができるかどうかを測る指標を新規設定（歯みがきや運動習慣に関する指標）するなど、評価（助言）を積極的に反映している。</p> <p>イ 目標を達成することができなかった指標については、コロナ禍を考慮すれば致し方ない部分もあるが、持ち方を工夫する他、目標未達の原因を分析し、改善に取り組んで欲しい。</p> <p>ウ 各取組みは計画で示す方向性に沿ったもので、児童・生徒にとって効果的なものと評価できる。</p> <p>(2) 今後の期待・要望</p> <p>ア 指標によっては成果指標と活動指標が連動していないため別途指標を設定するなどつながりを再検討すべきである。</p> <p>例：成果指標「全国調査において、『運動やスポーツをすることが好き』に肯定的な回答をした児童・生徒の割合」は目標値と実績に隔たりがある一方、関連する活動指標「体力向上推進計画実施の小・中学校の割合」は目標値を達成</p> <p>イ コロナ禍においては可能なものはオンラインを活用するなど、感染防止に努めながら各研修会や事業を進めて欲しい。</p> <p>5 今後の方針</p> <p>(1) 今回の評価結果は各所管へフィードバックし、次年度の事業展開や改善に反映させるとともに、次年度の評価の際に「反映結果」として評価する。</p> <p>(2) 指摘を受けたり、事業が終了・変更したため新設が必要となる指標については、各所管と協議し、適切な指標の設定に努める。</p>
<p>問 題 点 今 後 の 方 針</p>	<p>区ホームページ上で公表する。</p>

文教委員会報告資料

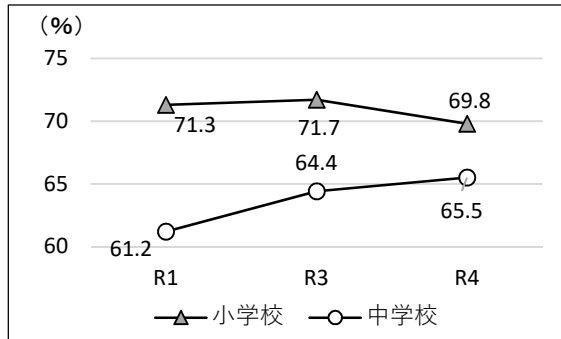
令和4年11月14日

件名	令和4年度「足立区学力定着に関する総合調査」の調査結果 (学習意識調査部分)について																				
所管部課名	教育指導部学力定着推進課																				
内容	<p>1 実施日 令和4年4月14日(木)</p> <p>2 調査実施人数</p> <p>(1) 小学校 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="475 645 1369 734"> <tr> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>4,550</td> <td>4,583</td> <td>4,730</td> <td>4,794</td> <td>4,719</td> <td>23,376</td> </tr> </table> <p>(2) 中学校 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="475 792 1369 882"> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>4,242</td> <td>4,109</td> <td>4,084</td> <td>12,435</td> </tr> </table> <p>3 分析の視点</p> <p>学力を支える非認知能力について、「学習指導要領において育成を目指す資質・能力」及び「学習の基盤となる資質・能力」に着目して『4項目(①学習に関する自己調整(※)、②粘り強さ、③言語能力、④情報活用能力)』を選定し、経年比較を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ 自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たに学習につなげること。</p> </div> <p>(1) 学習指導要領において育成を目指す資質・能力(3本柱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・技能 ・ 思考力・判断力・表現力等 ・ 学びに向かう力・人間性等 <p>このうち、学びに向かう力は、他の2つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定づける重要な要素である。この力の中の「主体的に学習に取り組む態度」として見取ることができる以下の視点に係る設問を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『① 学習に関する自己調整』 ・ 『② 粘り強さ』 <p>(2) 学習の基盤となる資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語能力 ・ 情報活用能力 ・ 問題発見・解決能力 <p>このうち、学習活動を支える重要な役割を果たし、すべての教科における学習の基盤となる『③ 言語能力』、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して問題発見・解決等を行う『④ 情報活用能力』に係る設問を選定した。</p> <p>※ その他の主要項目の結果は、P8からP14参照</p>	2年	3年	4年	5年	6年	計	4,550	4,583	4,730	4,794	4,719	23,376	1年	2年	3年	計	4,242	4,109	4,084	12,435
2年	3年	4年	5年	6年	計																
4,550	4,583	4,730	4,794	4,719	23,376																
1年	2年	3年	計																		
4,242	4,109	4,084	12,435																		

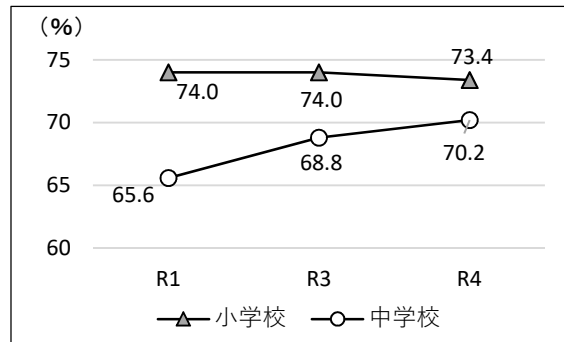
4 調査結果

(1) 授業で学習したことを振り返る活動を通じて、学習内容に対する興味や関心が深まったり、広がったりしたと思う

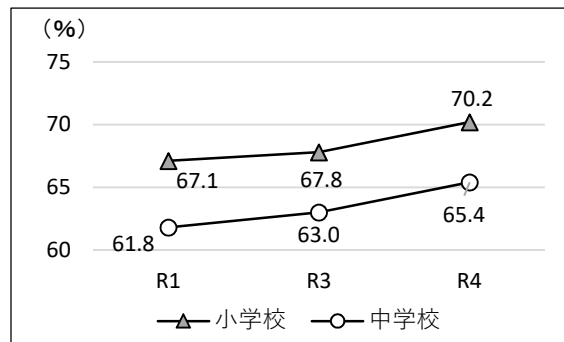
【学習に関する自己調整】



(2) わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している
【粘り強さ】

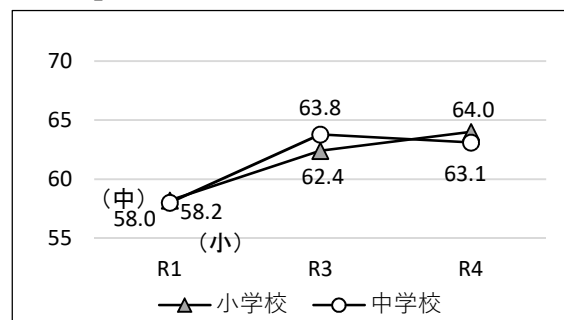


(3) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる
【言語能力】



(4) 先生から示された課題や自分で立てた課題について、インターネットや図書等から必要な情報を集め、整理することができる

【情報活用能力】



	<p>5 結果の分析</p> <p>(1) 学びに向かう力について 学習に関する自己調整、粘り強さともに、中学校側の改善傾向が見られる。ここ数年で中学校における足立スタンダード型授業の定着度が上がってきており、足立スタンダードにおける学習冒頭の「見通し」や締めくくり時の「振り返り」、「問題解決を中心とした学習」といった点が寄与しているものと考えられる。</p> <p>(2) 学習の基盤となる資質・能力について 概ね改善傾向にあり、特に「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる」の項目の改善が顕著である。足立スタンダード型授業においては、自らの考えを述べたり、他者の考えを聴く場面が設定されており、この授業スタイルの中で子ども達が訓練されてきたことのほか、意見表明時のICT機器の活用が進んできていることも要因と考える。</p> <p>6 今後の対応</p> <p>(1) 授業改善 分析結果を指導主事・学力定着指導員・教科指導専門員等が共有し、スタンダードスタイルの更なる質的向上を図るべく授業改善を推進し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」とともに「学びに向かう力」や「言語能力」の育成を目指す。</p> <p>(2) ICT・学校図書館の活用 1人1台のタブレット環境とともに学校図書館を活用した探究的な学習を推進し、情報活用能力を育成していく。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果の詳細及び各学校の学力向上への主な取り組み等を「調査結果報告書」（冊子）にとりまとめ、12月下旬に関係機関に配付予定（ただし、学校別ページについては、学校選択の参考資料となることから、すでに区ホームページに掲載済み） ・ 報告書の「概要版」（リーフレット）を保護者に配付予定

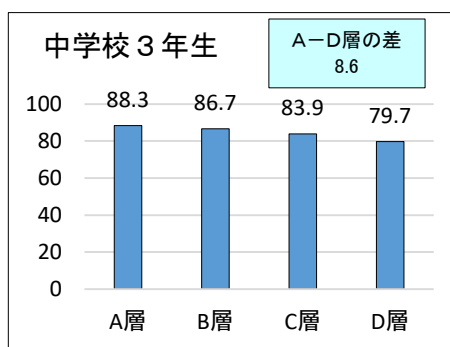
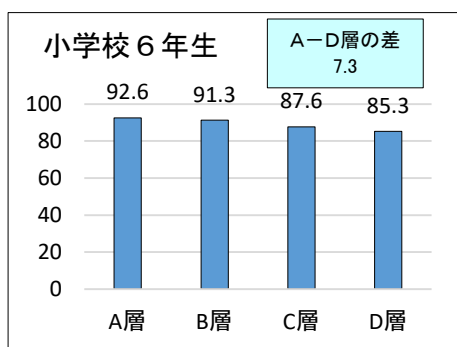
主要項目の学習意識調査結果（小中別・学力層別）

- ・ 学力層は、成績順にA層（上位層）、B層（中上位層）、C層（中下位層）、D層（下位層）の4層に区分したもの（各層概ね25%）
- ・ 各設問の数値は、肯定的な回答の割合を表す（単位：%）
- ・ カッコ内の数値は、昨年度からの増減を表す（単位：ポイント）

（1）学校への意識についての設問

ア 学校に行くのが楽しい

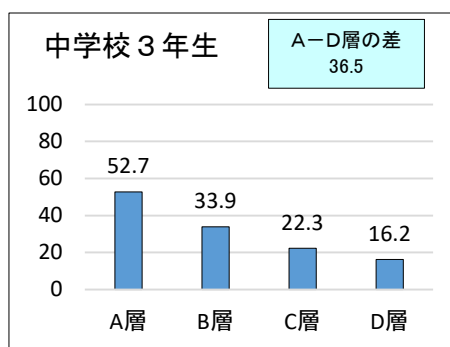
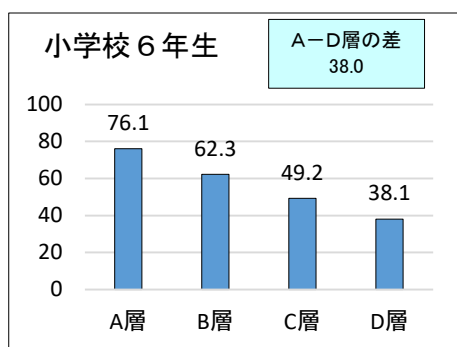
小学校全体	中学校全体
88.7 (+0.5)	86.2 (+0.1)



（2）勉強・教科に関する意識についての設問

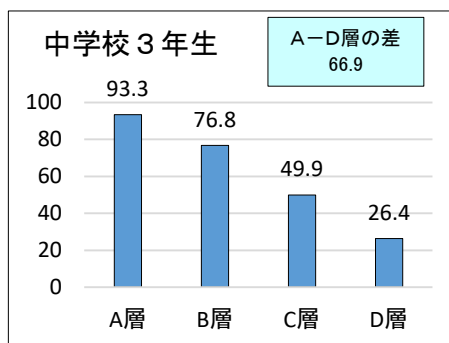
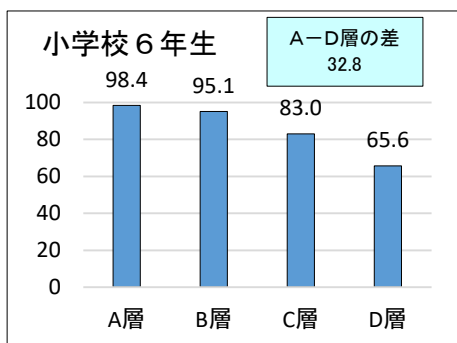
ア 勉強は好きだ

小学校全体	中学校全体
67.2 (-0.7)	36.7 (-2.0)



イ 学校の授業はどの程度分かるか

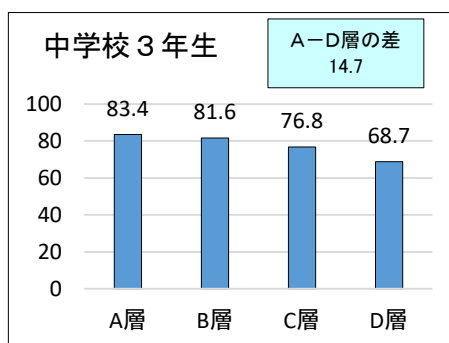
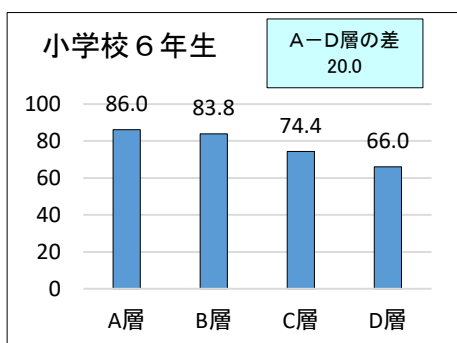
小学校全体	中学校全体
87.7 (-0.5)	67.4 (-0.7)



(3) 授業における学びの状況についての設問

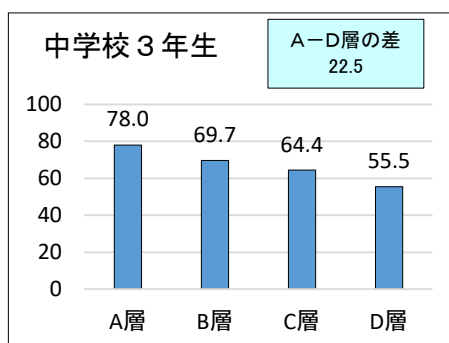
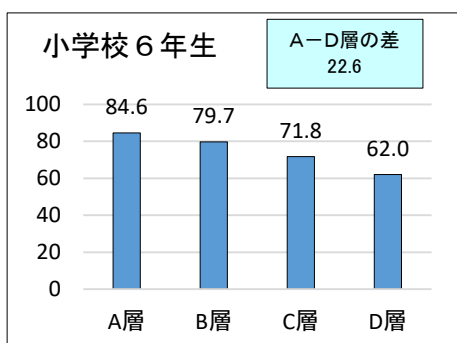
ア 授業のはじめに示された目標(めあて・ねらい)を理解し、見通しをもって学習に取り組んだと思う

小学校全体	中学校全体
77.5 (-2.1)	78.7 (+1.4)



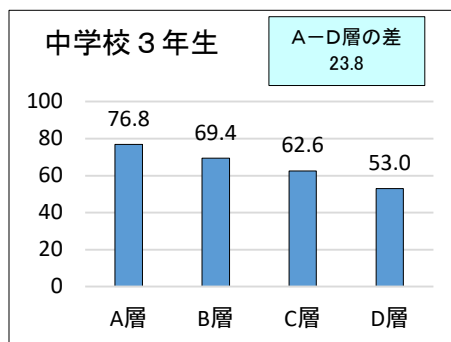
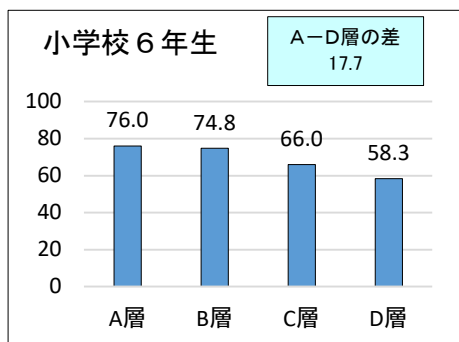
イ グループ活動やペア活動では、自分から積極的に発言したり、みんなで意見を出し合うことができたと思う

小学校全体	中学校全体
74.3 (±0.0)	66.9 (+1.0)



ウ 授業で学習したことを振り返る活動を通じて、学習内容に対する興味や関心が深まったり、広がったりしたと思う

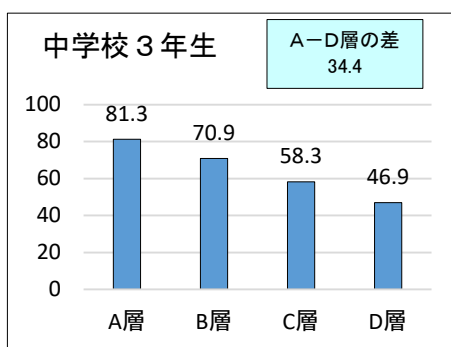
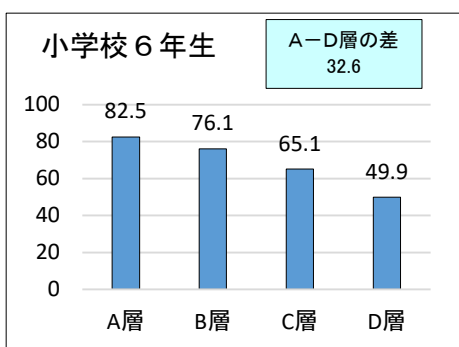
小学校全体	中学校全体
69.8 (-1.9)	65.5 (+1.1)



(4) 自ら学ぶ力についての設問

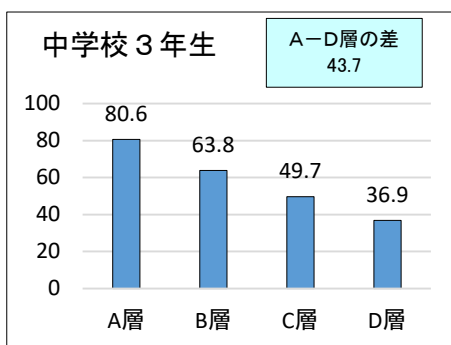
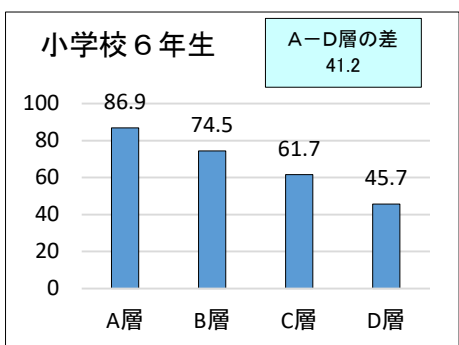
ア 先生から示された課題や自分で立てた課題について、インターネットや図書等から必要な情報を集め、整理することができる

小学校全体	中学校全体
64.0 (+1.6)	63.1 (-0.7)



イ これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決している

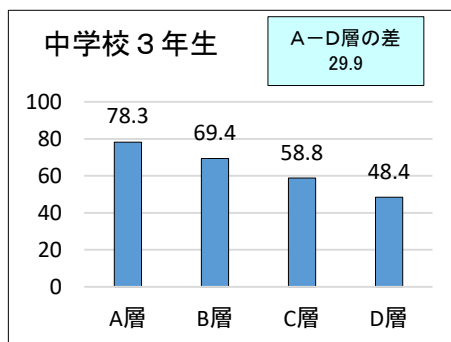
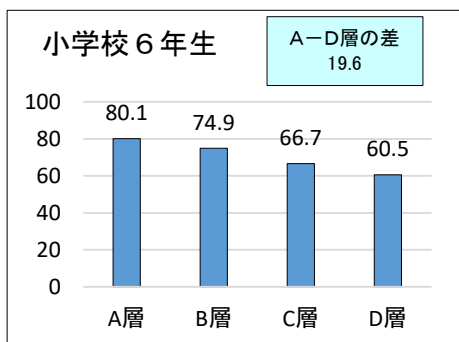
小学校全体	中学校全体
67.2 (+1.3)	59.5 (+2.2)



(5) 学びを律する力についての設問

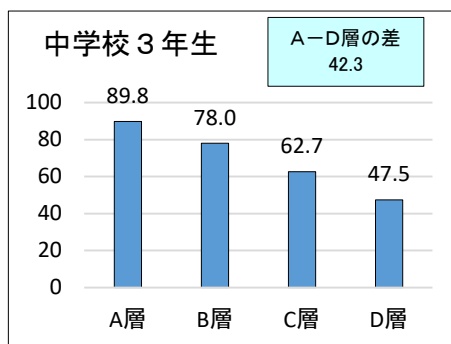
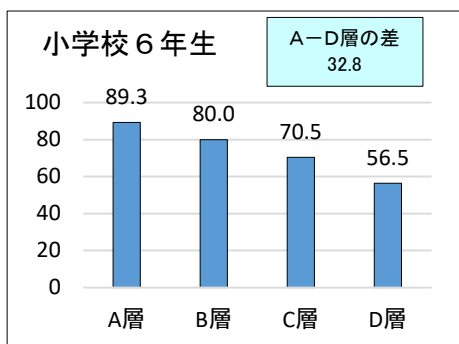
ア 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている

小学校全体	中学校全体
71.6 (-1.3)	64.5 (+0.2)



イ わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している

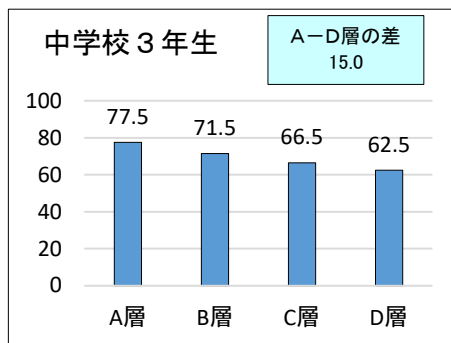
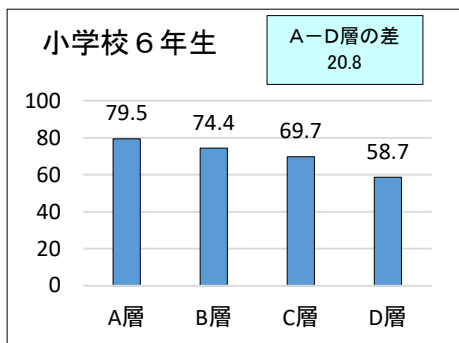
小学校全体	中学校全体
73.4 (-0.6)	70.2 (+1.4)



(6) 自己肯定感についての設問

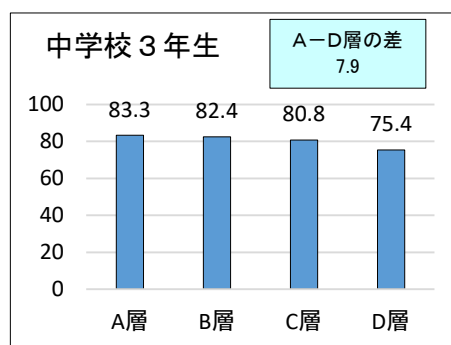
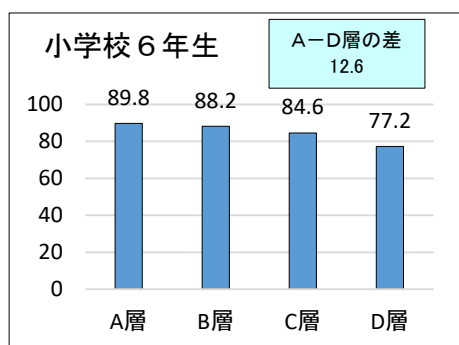
ア 自分にはよいところがあると思う

小学校全体	中学校全体
75.2 (+1.5)	68.6 (+1.0)



イ 努力をすれば、自分もたいいのことはできると思う

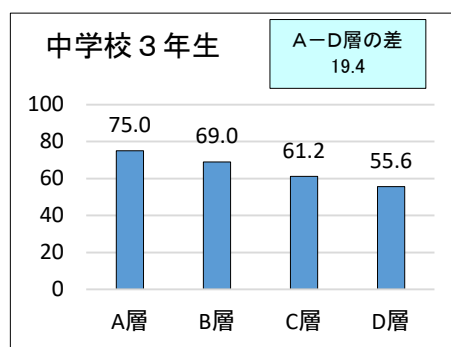
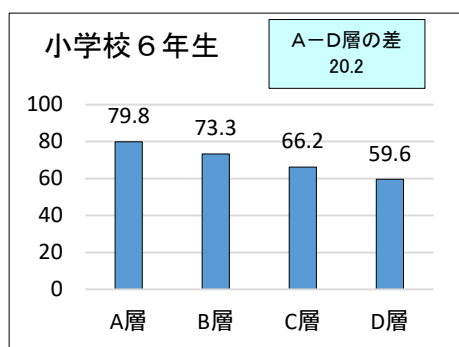
小学校全体	中学校全体
86.3 (+0.4)	81.5 (+0.1)



(7) 自制心・勤勉性についての設問

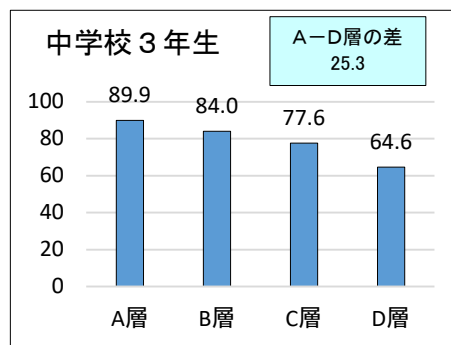
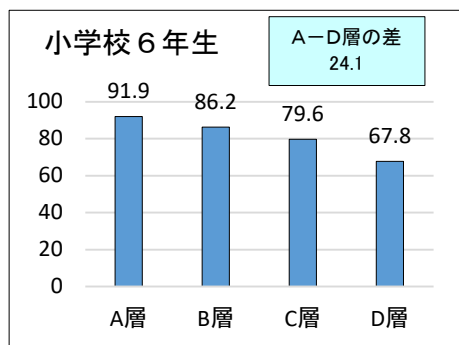
ア 難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる

小学校全体	中学校全体
77.8 (+1.3)	65.9 (+0.1)



イ 自分がやらなければならないことは、やりたくないときでも、きちんとやりぬくことができる

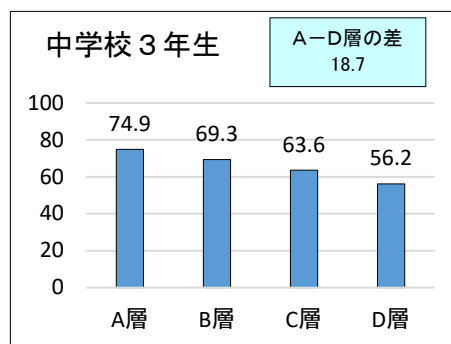
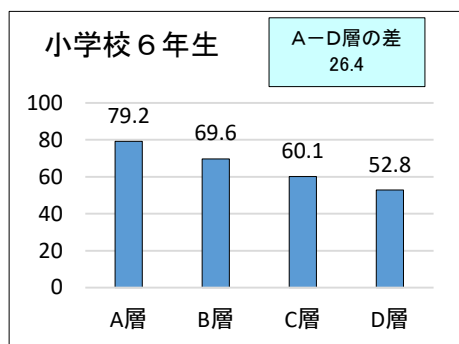
小学校全体	中学校全体
84.9 (+0.9)	79.4 (-0.1)



(8) 他者理解・協調性についての設問

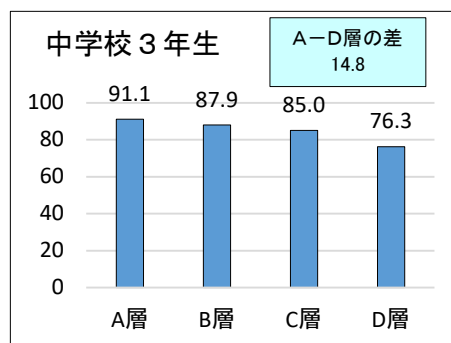
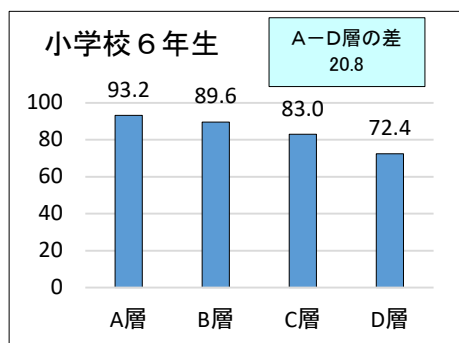
ア 自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる

小学校全体	中学校全体
70.2 (+2.4)	65.4 (+2.4)



イ 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとしている

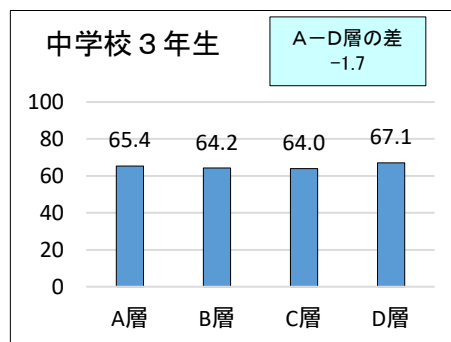
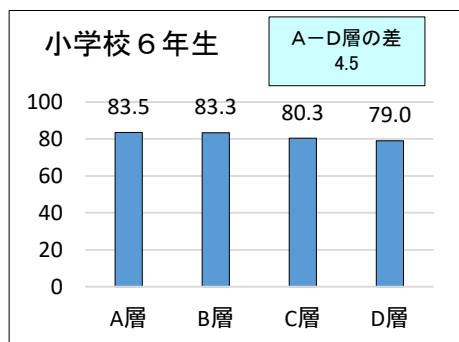
小学校全体	中学校全体
84.6 (+2.2)	84.7 (+0.5)



(9) キャリア形成意欲についての設問

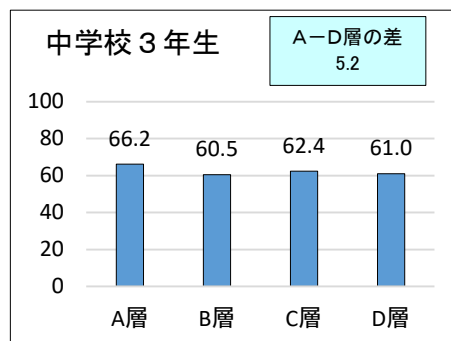
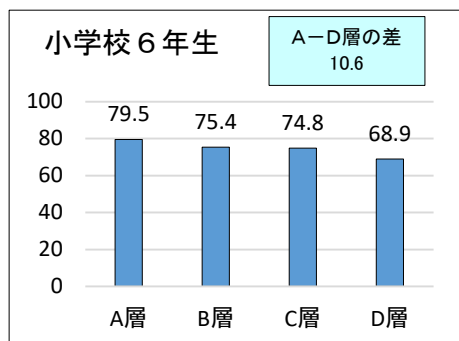
ア 将来の夢や目標を持っている

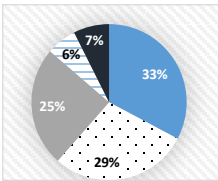
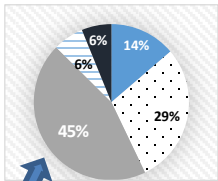
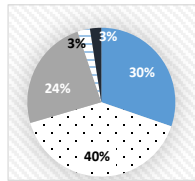
小学校全体	中学校全体
86.7 (+0.7)	69.7 (-2.5)



イ 自分の将来の夢や目標の実現に向かって努力したり、その方法を工夫・改善したりしている

小学校全体	中学校全体
76.2 (+1.4)	65.3 (-1.5)



件名	第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について
所管部課名	教育指導部教育指導課
内容	<p>令和4年7月に実施した、学習者用デジタル教科書の効果検証結果について以下のとおり報告する。</p> <p>1 調査対象及び実施期間</p> <p>(1) 対象</p> <p>ア 学習者用デジタル教科書が導入されている児童・生徒 小学校 第5・6学年（千寿小学校は第3・4学年を含む） 中学校 全学年</p> <p>イ アの児童・生徒を指導している教員</p> <p>ウ 学習者用デジタル教科書が導入されている児童・生徒の保護者</p> <p>(2) 期間 令和4年7月20日～令和4年8月2日までに実施</p> <p>2 調査結果の分析および次回調査までの対応</p> <p>教員、児童・生徒、保護者それぞれの視点での分析結果および次回調査までの対応については以下のとおり。</p> <p>(1) 教員</p> <p>① 分析 学習者用デジタル教科書の特長や活用方法を十分に理解していない</p> <p>② 対応 文部科学省や教科書会社が作成した授業動画や活用事例集を学校に周知していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>質問3 デジタル教科書の動画やアニメーションの使い方</p> <p>児童・生徒 デジタル教科書の動画やアニメーションなどを使っていますか。</p> <p>教員 動画やアニメーションなどのデジタル教材を活用して、児童・生徒がデジタル教科書を使っていると感じていますか。</p> <p>保護者 動画やアニメーションなどのデジタル教材は、お子さんの学習の理解に役立っていると感じていますか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>児童・生徒</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>教員</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>保護者</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>■ そう思う</p> <p>▨ どちらかというと思う</p> <p>■ どちらでもない</p> <p>□ どちらかというと思わない</p> <p>■ 思わない</p> </div> <p>児童・生徒や保護者は肯定的な回答が6割以上だが、教員は4割強にとどまる。「どちらでもない」と回答した教員もほぼ同じ割合であり、教員が学習者用デジタル教科書の長所を理解し、それを活かした授業が確立されていないと考えられる。</p> </div>

(2) 児童・生徒

① 分析

デジタル教科書を家庭学習で十分に活用できていない。

② 対応

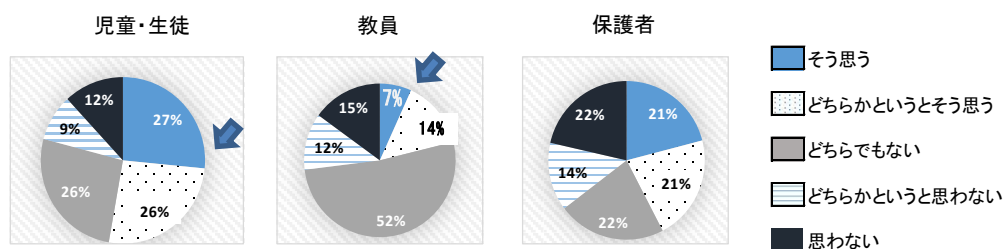
デジタル教科書を活用して行う課題の設定方法について学校に周知していく。

質問5 デジタル教科書の自主的な使用

児童・生徒 わからないことを調べるときや、学習内容をもう一度確かめるためにデジタル教科書を使っていますか。

教員 児童・生徒は、自主的にデジタル教科書を使っていますか。

保護者 お子さんは、ご自宅でデジタル教科書を使って学習をしている、もしくは、学校で使っていることを話しますか。



自宅での学習でデジタル教科書を活用している児童・生徒は半数強にとどまる。また児童・生徒が自宅での学習にデジタル教科書を活用していると回答した教員の割合は2割であり、デジタル教科書を活用できるような学習課題が設定されていないことが伺える。

(3) 保護者

① 分析

デジタル教科書を活用した学習についてよく理解されていない。

② 対応

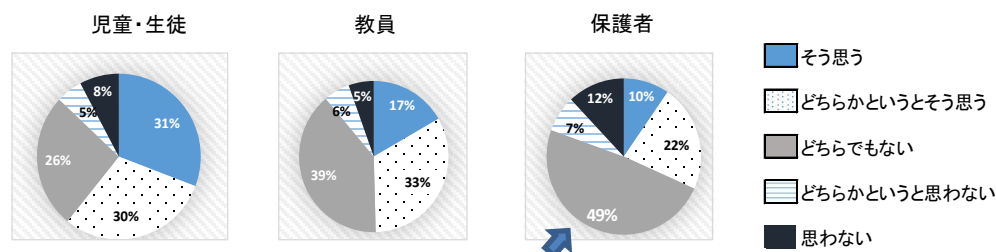
デジタル教科書を活用した授業の公開等を通じ、保護者への周知に努めていく。

質問11 デジタル教科書を使うことによる学習姿勢

児童・生徒 デジタル教科書を使うことで、興味をもって学習に集中できるようになったと感じますか。

教員 デジタル教科書を使うことで、児童・生徒は授業に集中していると感じますか。

保護者 デジタル教科書を使うことで、以前よりお子さんは集中して学習ができていると感じますか。



児童・生徒はデジタル教科書を使うと興味をもって学習に集中できると約6割が回答しているが、保護者は「どちらでもない」の回答が約5割であり、保護者はその様子がわからないため、と考えられる。

* 調査項目、調査結果の詳細は、P 17～23のとおり

問題点
今後の方針

今年12月に再度、今回と同様の調査を行い、今回調査との結果を比較しながら、有効な活用促進策を検討していく。

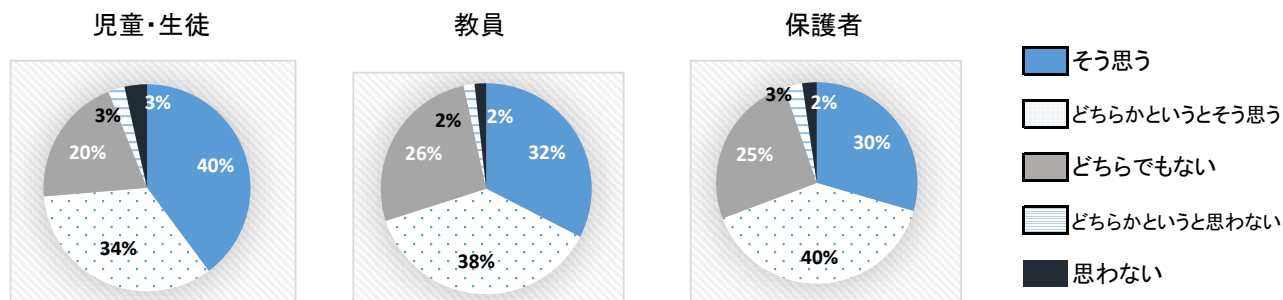
第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について

質問1 デジタル教科書を使うことによる学習内容の理解度

児童・生徒 デジタル教科書を使うことで、学習の内容についてわかると思うことが増えましたか。

教員 デジタル教科書を使うことで、児童・生徒の学習内容の理解に効果は見られますか。

保護者 デジタル教科書をお子さんが使うことで学習の理解への補助的な役割があると感じますか。



調査質問1の課題

デジタル教科書を使うことによる内容の理解について、肯定的な割合が多く効果が見られるが、「どちらでもない」との回答が2割以上であり、児童・生徒の学習中の学習者用デジタル教科書の使用頻度が少ないことが考えられる。

調査質問1の課題に対する対策

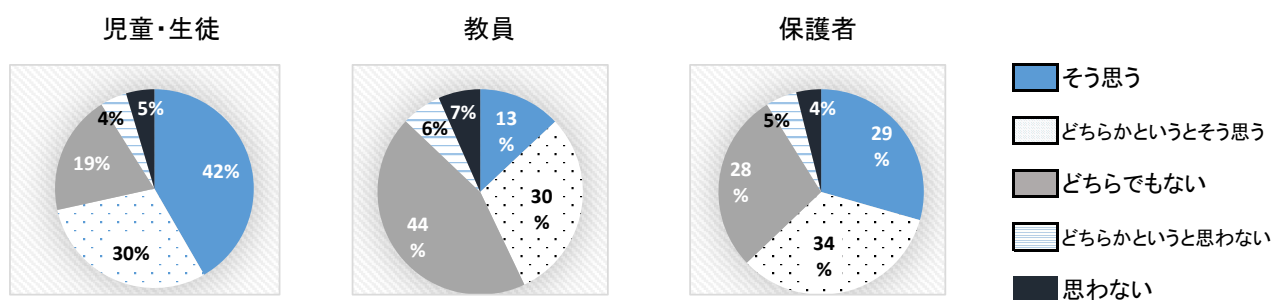
教員だけでなく、児童・生徒が学習者用デジタル教科書を積極的に活用していけるような資料を作成し学校に指導をする。学校だよりや学校ホームページ等でデジタル教科書を活用した学習を伝える等、保護者への啓発を行うよう学校に指導をする。

質問2 デジタル教科書の拡大、書き込み等の使い方

児童・生徒 文字や図を大きくしたり、書き込みをしたりするなど工夫してデジタル教科書を使えていますか。

教員 児童・生徒は、文字や図を大きくしたり、書き込みをしたり、デジタル教科書を用途に応じて使いこなしていると感じていますか。

保護者 お子さんは、文字や図を大きくしたり、書き込みをしたり、デジタル教科書をうまく活用できていると感じていますか。



調査質問2の課題

「どちらでもない」と回答した教員が4割以上を占めており、児童・生徒が主体的に学習者用デジタル教科書を活用した授業が確立されていないと考えられる。

調査質問2の課題に対する対策

デジタル教科書に書き込みをしたり、図等を活用したりする学習活動を取り入れられるように、デジタル教科書を活用した授業の実践事例の資料提供をするなどして学校に指導する。

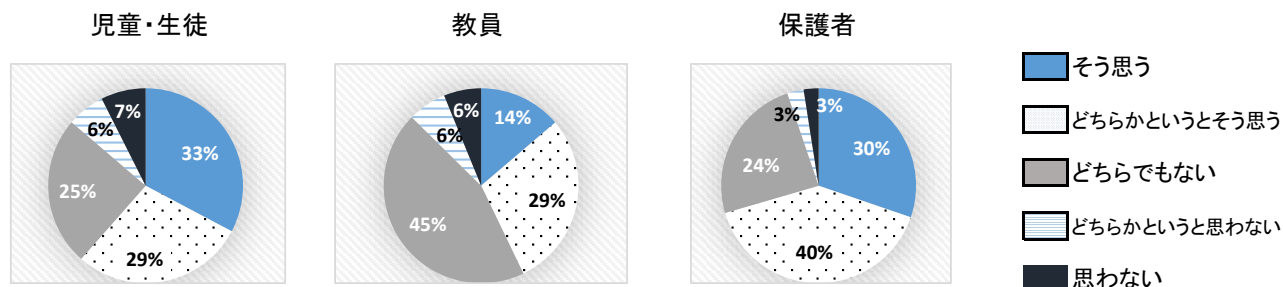
第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について

質問3 デジタル教科書の動画やアニメーションの使い方

児童・生徒 デジタル教科書の動画やアニメーションなどを使っていますか。

教員 動画やアニメーションなどのデジタル教材を活用して、児童・生徒がデジタル教科書を使っていると感じていますか。

保護者 動画やアニメーションなどのデジタル教材は、お子さんの学習の理解に役立っていると感じていますか。



調査質問3の課題

「どちらでもない」と回答した教員が約5割を占めており、児童・生徒が主体的に学習者用デジタル教科書の動画やアニメーションを活用した授業が確立されていないと考えられる。

調査質問3の課題に対する対策

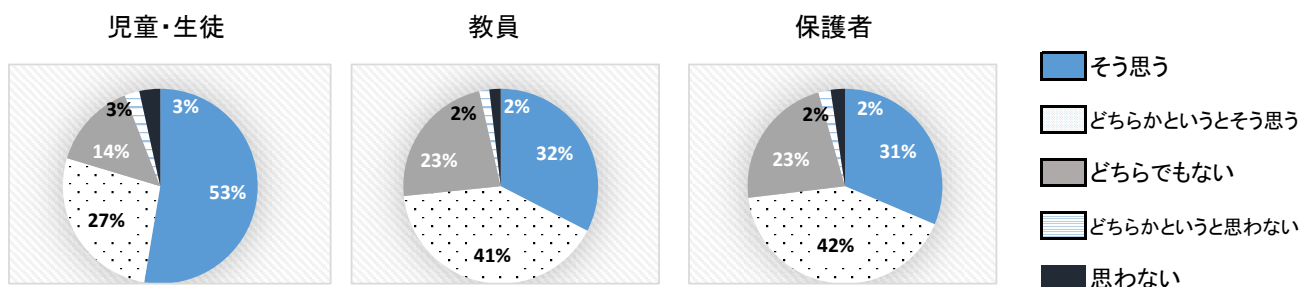
視覚的な理解につながる動画やアニメーションを活用した学習活動を取り入れられるように、実践事例の資料提供をしたり、家庭学習で、学習者用デジタル教科書のコンテンツを活用する課題に取り組みせたり等、学校に指導する。

質問4 デジタル教科書の図や写真の理解につながる効果

児童・生徒 デジタル教科書を使うと、図や写真が見やすく感じますか。

教員 デジタル教科書の図や写真を使うことで、児童・生徒の学習の理解につながっていると感じますか。

保護者 デジタル教科書の図や写真を使うことで、お子さんの学習の理解に役立っていると感じますか。



調査質問4の課題

肯定的な回答が7割から8割であり、デジタル教科書の図や写真が見やすく、理解につながっていると考えられるが、「どちらでもない」と回答している教員が2割を超えているので教員が使用に慣れていない可能性がある。

調査質問4の課題に対する対策

視覚的な理解につながる動画やアニメーションを活用した学習活動を取り入れられるように、実践事例の資料提供をしたり、家庭学習で、学習者用デジタル教科書のコンテンツを活用する課題に取り組みさせること等を、学校に指導する。

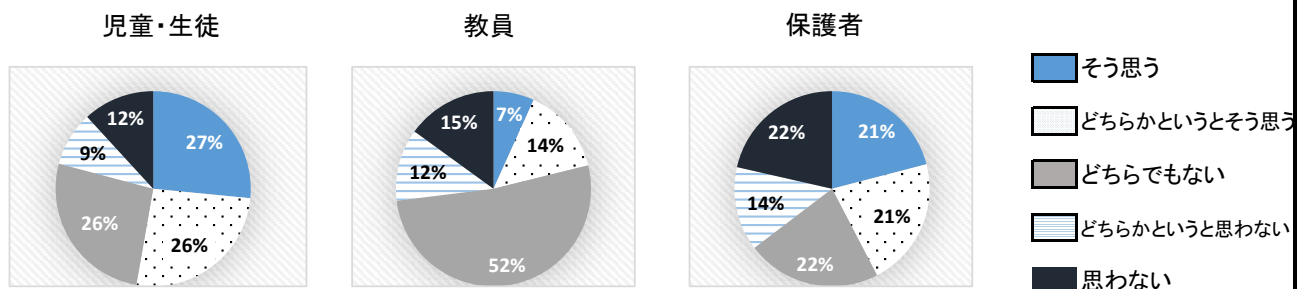
第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について

質問5 デジタル教科書の自主的な使用

児童・生徒 わからないことを調べるときや、学習内容をもう一度確かめるためにデジタル教科書を使っていますか。

教員 児童・生徒は、自主的にデジタル教科書を使っていますか。

保護者 お子さんは、ご自宅でデジタル教科書を使って学習をしている、もしくは、学校で使っていることを話しますか。



調査質問5の課題

「どちらでもない」と回答した教員が約5割を占めており、児童・生徒が日常的に学習者用デジタル教科書を活用できておらず、学習者用デジタル教科書の使い方の理解が不十分である可能性がある。

調査質問5の課題に対する対策

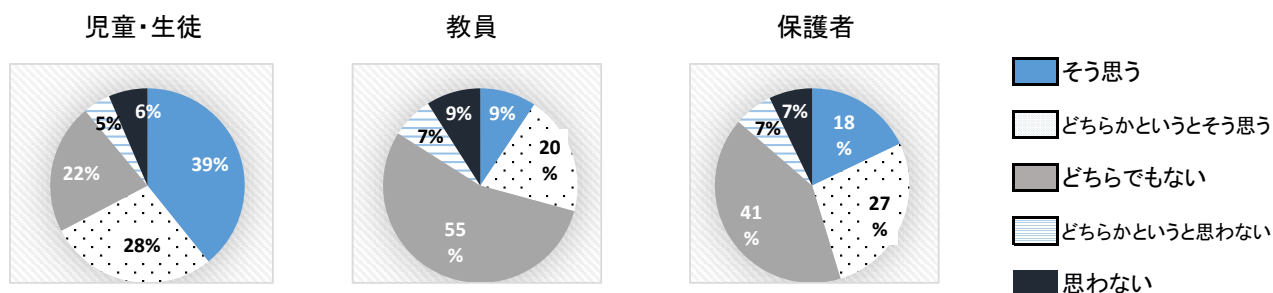
児童・生徒が学習者用デジタル教科書の使い方がわかる資料提供をしたり、学習等でわからないときは学習者用デジタル教科書の活用を促したり等、学校に指導をする。

質問6 デジタル教科書の書き込み機能による積極性

児童・生徒 デジタル教科書の書き込みは、消して書き直すなど簡単にやり直すことができるので、書き間違いを気にせず学習することができますか。

教員 デジタル教科書に書き込む活動をする中で、児童・生徒は間違えることを恐れずに学習に取り組んでいますか。

保護者 デジタル教科書に書き込むことで、簡単にやり直すことができ、お子さんは間違いを恐れずに学習できていると感じますか。



調査質問6の課題

児童・生徒の肯定的な回答が約7割であるにもかかわらず、「どちらでもない」と回答した教員が5割を超えており、児童・生徒が学習者用デジタル教科書に書き込む学習活動が十分に行えていない可能性がある。

調査質問6の課題に対する対策

学習者用デジタル教科書に書き込んで試行錯誤し、自力解決を図れる学習課題を設定していけるような実践事例や操作方法についての資料提供を行い、学校に指導する。

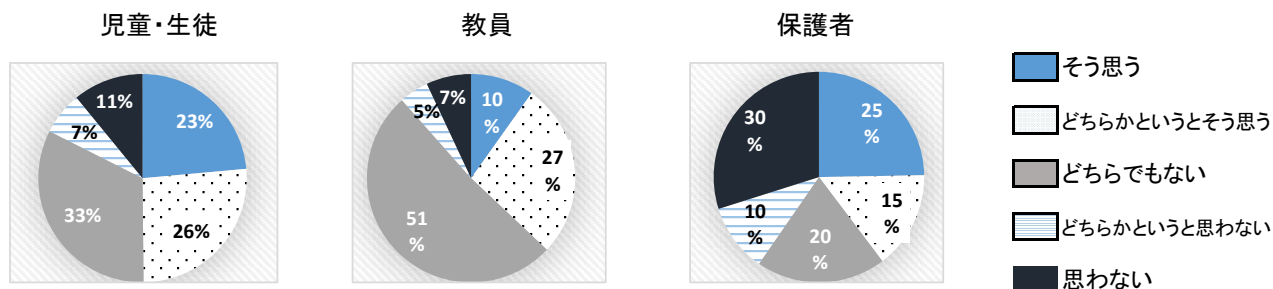
第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について

質問7 デジタル教科書の書き込み機能を使用した他の考えを知る意欲

児童・生徒 友だちが書き込んだデジタル教科書画面を見ることで、友だちの考えを知りたくなりましたか。

教員 書き込まれたデジタル教科書画面を活用することで、児童・生徒は友だちの考えに興味をもつようになっていきますか。

保護者 デジタル教科書に書き込みができ、大型ディスプレイに複数の児童・生徒の画面を映してみんなで見られることをご存じですか。



調査質問7の課題

「どちらでもない」と回答した教員が約5割を占めており、児童・生徒が書き込んだ学習者用デジタル教科書画面が十分に活用されていない、また、保護者の否定的な回答や「どちらでもない」の回答が6割であり、学習活動を知られていない可能性がある。

調査質問7の課題に対する対策

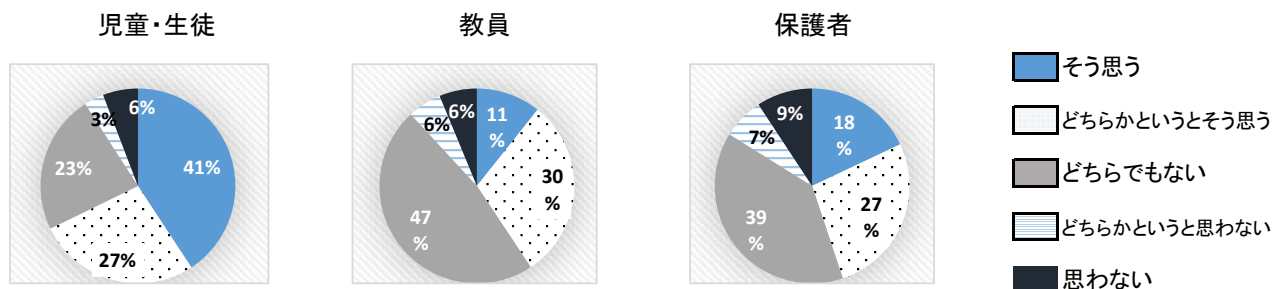
学習者用デジタル教科書に書き込んで自力解決を図る学習課題を設定する実践事例や、学習者用デジタル教科書に書き込んだ画面を保存し、大型ディスプレイに表示して考えを共有する方法の資料提供を行う。学校だよりや学校ホームページ等でデジタル教科書を活用した学習を伝える等、保護者への啓発を行うよう学校に指導をする。

質問8 デジタル教科書の音声を使用することによる理解度

児童・生徒 デジタル教科書の音声を聞くことで、英語の読み方の発音がわかりやすくなったと感じていますか。

教員 デジタル教科書の音声を聞くことで、児童・生徒は音読活動で苦手意識が減ってきていると感じますか。

保護者 デジタル教科書の音声を聞くことで、お子さんは英語の音読活動に積極的に取り組めるようになっていきますか。



調査質問8の課題

児童・生徒の肯定的な回答が約7割であるにもかかわらず、「どちらでもない」と回答した教員が約5割を占めており、授業において、個々の学習者用デジタル教科書の音声の活用が十分でない可能性がある。

調査質問8の課題に対する対策

学習のねらいに応じて個別に学習者用デジタル教科書の音声を活用する実践事例を提供し、家庭学習では、学習者用デジタル教科書の音声等を活用した音読の課題を設定するよう学校に指導する。

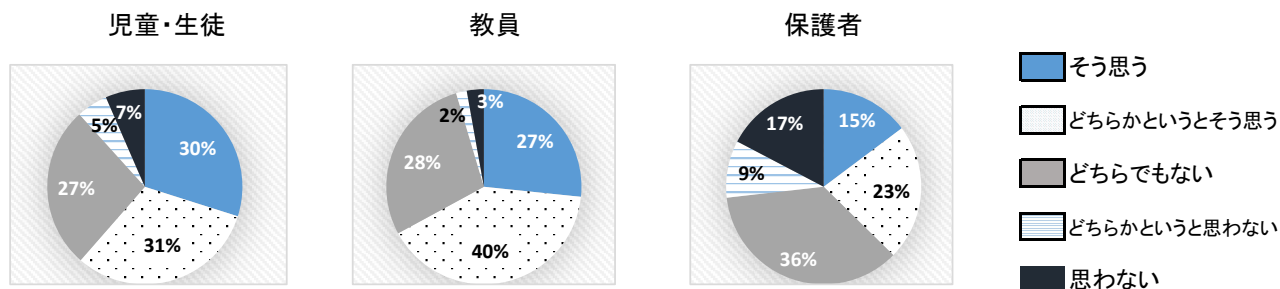
第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について

質問9 デジタル教科書を使うことによる学習意欲

児童・生徒 デジタル教科書を使うことで、自分なりに工夫して学習することができていますか。

教員 デジタル教科書を使うことで、児童・生徒が興味や関心をもって授業を受けることができましたか。

保護者 デジタル教科書を使うことで、お子さんが授業が楽しいと言ったり、またやってみたくて話をしたりしていますか。



調査質問9の課題

肯定的な回答の割合は、児童・生徒が約6割、教員が約7割、保護者が約4割であり、学習者用デジタル教科書を使った学習が保護者に知られていないと考えられる。

調査質問9の課題に対する対策

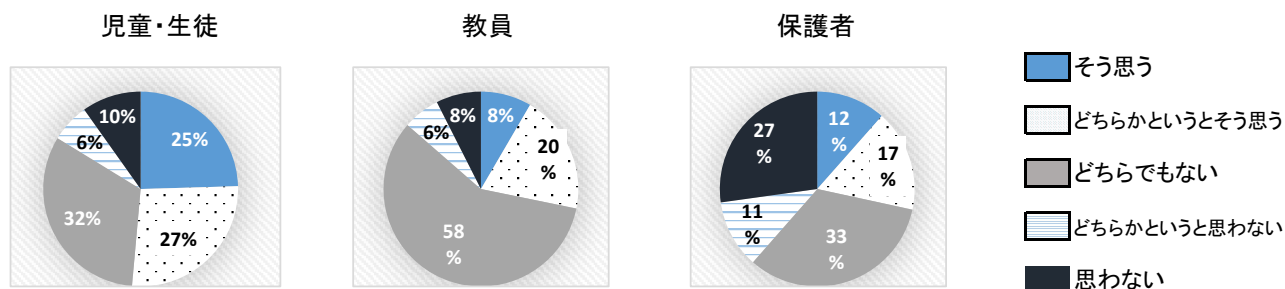
学校公開で学習者用デジタル教科書を活用した授業を公開したり、学校だよりや学校ホームページ等でデジタル教科書を活用した学習を伝える等、保護者への啓発を行ったりするよう学校に指導をする。

質問10 デジタル教科書を使うことによる考えの比較

児童・生徒 デジタル教科書を使うことで、友だちとお互いの考えを比べることができましたか。

教員 デジタル教科書を使うことで、児童・生徒が友だちとお互いの考えを比べることができていましたか。

保護者 デジタル教科書を使うことで、お子さんが友だちとお互いの考えを比べられることをご存じですか。



調査質問10の課題

「どちらでもない」と回答した教員が約6割を占めており、児童・生徒が書き込んだ学習者用デジタル教科書画面が十分に活用されていない、また、保護者の否定的な回答や「どちらでもない」の回答が7割であり、学習内容が知られていない可能性がある。

調査質問10の課題に対する対策

学習者用デジタル教科書に書き込んで、自力解決を図る学習課題を設定する実践事例や、学習者用デジタル教科書に書き込んだ画面を保存し、大型ディスプレイに表示して考えを共有する方法の資料提供を行う。学校だよりや学校ホームページ等でデジタル教科書を活用した学習を伝える等、保護者への啓発を行うよう学校に指導をする。

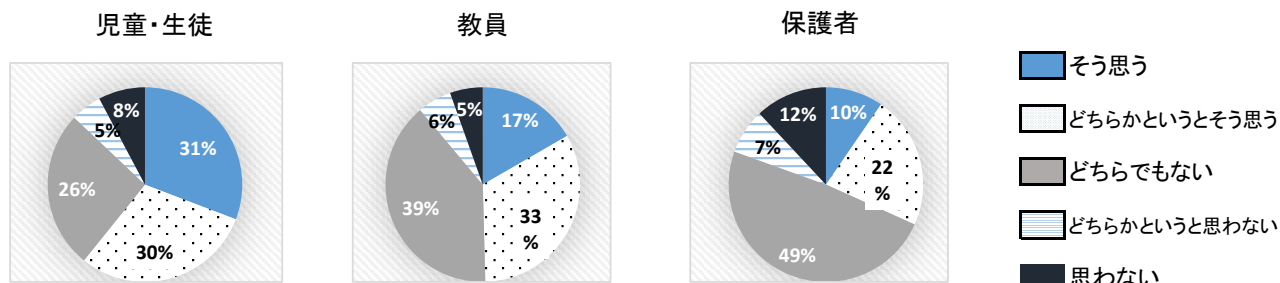
第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について

質問11 デジタル教科書を使うことによる学習姿勢

児童・生徒 デジタル教科書を使うことで、興味をもって学習に集中できるようになったと感じますか。

教員 デジタル教科書を使うことで、児童・生徒は授業に集中していると感じますか。

保護者 デジタル教科書を使うことで、以前よりお子さんは集中して学習ができていると感じになりますか。



調査質問11の課題

児童・生徒はデジタル教科書を使うと興味をもって学習に集中できると約6割が回答しているが、保護者の「どちらでもない」の回答が約5割であり、保護者はその様子がわからないと考えられる。

調査質問11の課題に対する対策

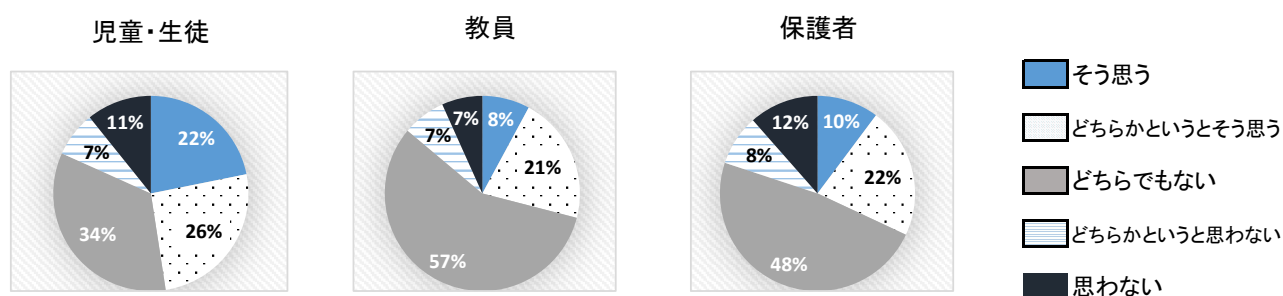
学校公開で学習者用デジタル教科書を活用した授業を公開したり、学校だよりや学校ホームページ等でデジタル教科書を活用した学習を伝える等、保護者への啓発を行ったりするよう学校に指導をする。

質問12 デジタル教科書を使うことによる考えを伝える効果

児童・生徒 デジタル教科書を使うことで、授業中に、友だちや先生に自分の意見を伝えることができたと感じていますか。

教員 デジタル教科書を使うことで、児童・生徒は授業中に友だちや先生に自分の意見を伝えることができていると感じていますか。

保護者 デジタル教科書を使うことで、お子さんは友だちや先生にタブレット端末を使って自分の意見を伝えることができていると感じになりますか。



調査質問12の課題

「どちらでもない」と回答した教員が約6割を占めており、児童・生徒が書き込んだ学習者用デジタル教科書画面が十分に活用されていない、また、保護者の否定的な回答や「どちらでもない」の回答が7割であり、学習内容が知られていない可能性がある。

調査質問12の課題に対する対策

学習者用デジタル教科書に書き込んで試行錯誤し、自力解決を図る学習課題を設定する実践事例や、学習者用デジタル教科書に書き込んだ画面を保存し、大型ディスプレイに表示して考えを共有する方法の資料提供を行う。

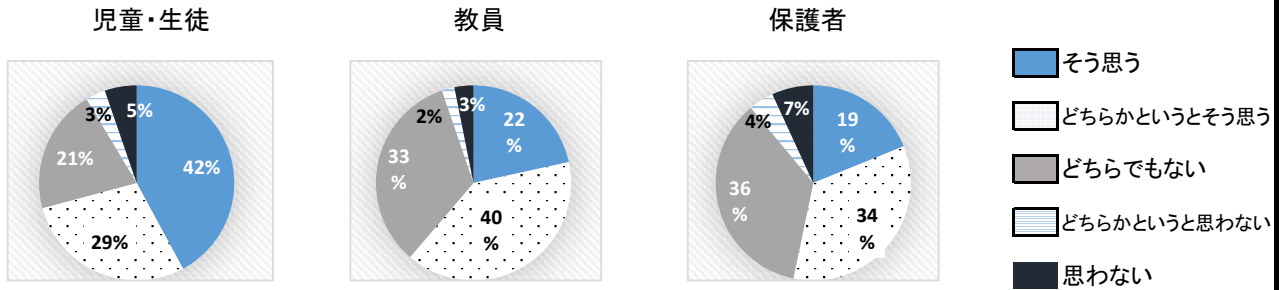
第1回学習者用デジタル教科書の効果検証結果について

質問13 デジタル教科書を使うことによる学習意欲

児童・生徒 デジタル教科書を使うことで、楽しく、興味をもって、学ぶことができますか。

教員 デジタル教科書を使うことで、児童・生徒は授業で学ぶことに興味をもっていると感じていますか。

保護者 デジタル教科書を使うことで、お子さんは授業で楽しく興味をもって学習していると感じていますか。



調査質問13の課題

児童・生徒はデジタル教科書を使うと興味をもって学習に集中できると7割が回答しているが、4割弱の保護者はその様子がわからないと考えられる。

調査質問13の課題に対する対策

学校公開で学習者用デジタル教科書を活用した授業を公開したり、学校だよりや学校ホームページ等でデジタル教科書を活用した学習を伝える等、保護者への啓発を行ったりするよう学校に指導をする。

件名	足立区版「生命（いのち）の安全教育」の進捗状況について								
所管部課名	教育指導部教育指導課								
内容	<p>文部科学省による「令和4年度学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業」の進捗状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 学習内容</p> <table border="1" data-bbox="443 591 1417 1043"> <tr> <td data-bbox="451 591 954 651">1 大切な身体</td> <td data-bbox="959 591 1409 1043" rowspan="5">国の「生命（いのち）の安全教育」の手引きをベースに、モデル校が指導案と教材を作成し、研究授業を実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 658 954 719">2 身体の侵害による嫌悪・不快</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 725 954 786">3 SNSのリスク</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 792 954 853">4 良好な人間関係</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 860 954 920">5 性暴力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 927 954 1043">6 性的接触</td> <td data-bbox="959 927 1409 1043">先行事例や関係機関との調整を踏まえ、指導案や教材を検討中</td> </tr> </table> <p>※ 過度なダイエットの防止等、食育に関する内容について、発達の段階に合わせて学習内容に含むことを検討中</p> <p>2 第1回研究授業について</p> <p>区立小中学校2校（中島根小学校、第十中学校）をモデル校とし、以下のとおり第1回目の研究授業を実施した。</p> <p>(1) 足立区立第十中学校 2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年9月26日（月）10時35分から11時25分まで ・ 主に上記学習内容4、5に関する授業を1学級で実施 <p>※ 区長、副区長、教育長、教育委員による視察 ※ 教育長、教育委員、学校による意見交換会 ※ 意見交換会での意見は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒が学習内容を自分事として考えることができるようにするために、自力解決や意見交換の時間を十分確保する必要がある。 ・ 児童・生徒の思考を促すことのできるよりよい教材を開発すべきである。 <p>(2) 足立区立中島根小学校 2年生 5年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年9月26日（月）13時25分から14時20分まで ・ 主に第2学年は、上記学習内容1、2、第5学年は、上記学習内容3、4に関する授業を1学級で実施 	1 大切な身体	国の「生命（いのち）の安全教育」の手引きをベースに、モデル校が指導案と教材を作成し、研究授業を実施	2 身体の侵害による嫌悪・不快	3 SNSのリスク	4 良好な人間関係	5 性暴力	6 性的接触	先行事例や関係機関との調整を踏まえ、指導案や教材を検討中
1 大切な身体	国の「生命（いのち）の安全教育」の手引きをベースに、モデル校が指導案と教材を作成し、研究授業を実施								
2 身体の侵害による嫌悪・不快									
3 SNSのリスク									
4 良好な人間関係									
5 性暴力									
6 性的接触	先行事例や関係機関との調整を踏まえ、指導案や教材を検討中								

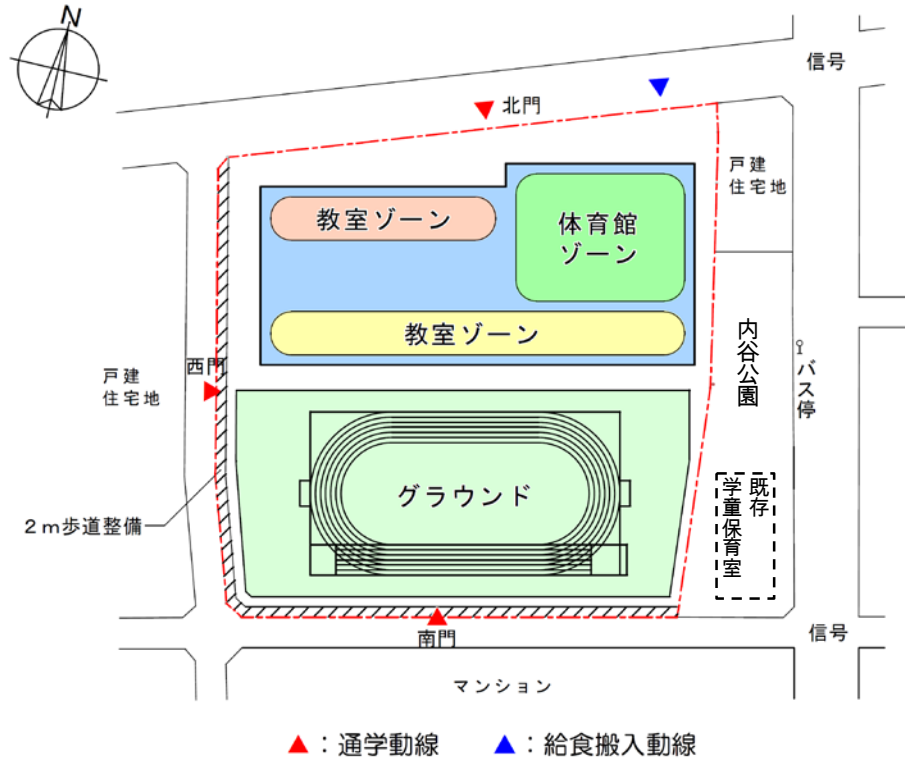
	<p>3 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回研究授業を踏まえて指導案と教材を修正し、1月までに他学級で第2回以降の研究授業を実施する。 ・ 研究授業終了後に意識調査を実施、児童・生徒の変容を把握し、本事業の成果について2月末までにまとめる。 ・ 令和5年度教育課程説明会（12月）にて、足立区版「生命（いのち）の安全教育」の全校展開について区立小・中学校に周知する。
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>学校現場の意見を聞きながら、令和5年度からの全校展開に向けての準備を進めていく。</p>

文教委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	東湊江小学校施設更新事業に伴う建替え方針について																																								
所管部課名	学校運営部 学校施設管理課 施設営繕部 中部地区建設課、東部地区建設課																																								
内容	<p>東湊江小学校改築実行委員会と意見交換を行い、建替え方針について、以下のとおり経過を報告する。</p> <p>1 経緯</p> <p>(1) 第1回東湊江小学校改築実行委員会（令和4年4月13日）開かれた学校づくり協議会から改築実行委員22名を決定</p> <p>(2) 第2回東湊江小学校改築実行委員会（令和4年7月12日）仮設校舎を自校内に計画する方針に同意</p> <p>(3) 第3回東湊江小学校改築実行委員会（令和4年8月31日）新校舎の配置計画を敷地北側にする方針に同意</p> <p>2 新校舎配置方針等（資料P28参照）</p> <p>(1) 計画規模（新旧比較表）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">新校舎案</th> <th style="width: 35%;">既存校舎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延床面積</td> <td>約10,000㎡</td> <td>約6,600㎡</td> </tr> <tr> <td>普通教室</td> <td>18室</td> <td>18室</td> </tr> <tr> <td>多目的室</td> <td>6室</td> <td>3室</td> </tr> <tr> <td>特別教室</td> <td>7室</td> <td>7室</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>1室</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級</td> <td>5室</td> <td>5室</td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>約380㎡</td> <td>約100㎡</td> </tr> <tr> <td>体育館 (舞台含まず)</td> <td>約760㎡</td> <td>約520㎡</td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>屋上 6コース</td> <td>地上 6コース</td> </tr> <tr> <td>校庭</td> <td>約3,400㎡</td> <td>約2,300㎡</td> </tr> <tr> <td>防災備蓄倉庫</td> <td>約100㎡</td> <td>約33㎡</td> </tr> <tr> <td>学童保育室</td> <td>学校併設 約190㎡</td> <td>敷地外 約190㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 新校舎案の数字においては、まだ確定ではありません。</p>			新校舎案	既存校舎	延床面積	約10,000㎡	約6,600㎡	普通教室	18室	18室	多目的室	6室	3室	特別教室	7室	7室	多目的ホール	1室	なし	特別支援学級	5室	5室	図書室	約380㎡	約100㎡	体育館 (舞台含まず)	約760㎡	約520㎡	プール	屋上 6コース	地上 6コース	校庭	約3,400㎡	約2,300㎡	防災備蓄倉庫	約100㎡	約33㎡	学童保育室	学校併設 約190㎡	敷地外 約190㎡
	新校舎案	既存校舎																																							
延床面積	約10,000㎡	約6,600㎡																																							
普通教室	18室	18室																																							
多目的室	6室	3室																																							
特別教室	7室	7室																																							
多目的ホール	1室	なし																																							
特別支援学級	5室	5室																																							
図書室	約380㎡	約100㎡																																							
体育館 (舞台含まず)	約760㎡	約520㎡																																							
プール	屋上 6コース	地上 6コース																																							
校庭	約3,400㎡	約2,300㎡																																							
防災備蓄倉庫	約100㎡	約33㎡																																							
学童保育室	学校併設 約190㎡	敷地外 約190㎡																																							

(2) 配置計画案



3 建替えスケジュール

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
●	●	●	●	●	●
●———● 新校舎設計		●———● 各種届出計画通知	●———● 新校舎建設		☆ 令和9年度開校予定
●	●	●		●	●
●———● 仮設校舎設計		●———● 各種届出計画通知		●———● 仮設校舎解体	
		●		●	●
	●———● 仮設校舎建設	●———● 既存校舎解体		●———● 体育館解体	
●	●	●		●	●
●———● 解体設計		●———● プール棟解体		●———● 校庭整備	

4 今後の課題


改築実行委員会から、隣接する内谷公園について、児童生徒の登下校の安全性（歩道・バスベいの整備）や災害時における学校東側近隣住民の緊急避難経路を考慮し、改築時に学校の敷地として活用できないのかというご意見をいただいている。

今後の方針

- ・ 現在、仮設校舎の平面計画を検討中であり、年内に確定していく。
- ・ 学校運営に支障がないようスケジュール管理を徹底していく。

配置計画比較表

評価項目	A 案（建物北側配置案）		B 案（建物西側配置案）		C 案（建物 L 型配置案）	
配置計画案						
計画概要	建物北側配置・一部 5 階建て		建物西側配置・総 5 階建て		建物 L 型配置・4 階建て	
教室環境	普通教室は南向きとなる	◎	普通教室は東向きとなる	○	普通教室は概ね東向き又は西向きとなる	○
グラウンド面積 (現況約2,300㎡)	約3,400㎡・120mトラック	○	約3,800㎡・120mトラック	◎	約3,200㎡・100mトラック	△
周辺との関係	現状と概ね配置が同じ	○	現状から変化がある（西側住宅に影響が出やすい）	△	現状から変化がある（西側住宅に影響が出やすい）	△
	既存校舎と同規模の仮設校舎が必要	△	既存校舎の一部が利用可能	○	既存校舎の一部が利用可能	○
	一部 5 階建てかつ東西ボリュームのため影響範囲がやや狭い	○	総 5 階建てかつ南北ボリュームのため影響範囲が広い	△	L 型ボリュームだが 4 階建てのため影響範囲がやや狭い	◎

<p>件名</p>	<p>興本小学校拡張用地取得に関する交渉状況について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>学校運営部学校施設管理課</p>
<p>内容</p>	<p>1 都住創出用地の取得の交渉について 興本小学校は、敷地の接道条件が悪く、現状のままでは同規模の建物の再築ができない。区は、興本小学校の北側にある創出用地を取得し、興本小学校敷地の再築に必要な接道を確保するため、数年にわたり都と交渉を継続している。</p>  <p>2 都との交渉状況 平成31年2月から現在まで、都に対して、学校用地としての活用意向を伝え、取得理由書等を示しつつ整備スケジュール案について相談しながら交渉を続けてきた。 今後は、具体的な用地活用計画を示しながら、都との交渉・協議をさらに進めていく予定である。</p> <p>3 今後に向けた事前調査等 都住創出用地の取得と活用計画の前提となる、学校北側の道路部分と学校敷地の測量、交通量調査が事前に必要となる。 必要な経費を12月補正に計上する予定である。</p> <p>(1) 学校周辺交通量調査委託経費 825千円 (2) 学校敷地並びに付帯道路の測量および測量図面作成委託経費 令和4年度0円(令和5年度6,290千円) ※債務負担行為</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>早期に活用計画を策定し、令和6年度の用地取得を目標に引き続き東京都と交渉していく。</p>

文教委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	校外施設指定管理者評価結果について																				
所管部課名	学校運営部学務課																				
内 容	<p>鋸南自然の家および日光林間学園の令和3年度業務について、足立区立校外施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という）による評価を行ったので、報告する。</p> <p>1 主な業務内容</p> <p>(1) 鋸南自然の家 区立小学校5年生の自然教室及び一般利用宿泊施設 (2) 日光林間学園 区立小学校6年生の自然教室及び一般利用宿泊施設 ※ 令和3年度自然教室は、2泊3日から1泊2日に減泊して実施</p> <p>2 指定管理者・指定管理期間</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施設名</th> <th style="text-align: center;">指定管理者</th> <th style="text-align: center;">指定管理期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">鋸南自然の家</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">株式会社フォレスト (代表取締役 石田 浩二)</td> <td style="text-align: center;">令和元年度～令和5年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日光林間学園</td> <td style="text-align: center;">平成30年度～令和4年度</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 指定管理料（令和3年度）</p> <p>(1) 鋸南自然の家</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">① 非精算</td> <td style="text-align: right;">94,394,024円（税込）</td> </tr> <tr> <td>② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費)</td> <td style="text-align: right;">7,689,617円（税込）</td> </tr> <tr> <td>合計（①+②）</td> <td style="text-align: right;">102,083,641円（税込）</td> </tr> </table> <p>(2) 日光林間学園</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">① 非精算</td> <td style="text-align: right;">59,027,652円（税込）</td> </tr> <tr> <td>② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費)</td> <td style="text-align: right;">9,543,053円（税込）</td> </tr> <tr> <td>合計（①+②）</td> <td style="text-align: right;">68,570,705円（税込）</td> </tr> </table> <p>4 評価対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>5 評価委員会開催日 令和4年8月30日（ウェブでの開催）</p>	施設名	指定管理者	指定管理期間	鋸南自然の家	株式会社フォレスト (代表取締役 石田 浩二)	令和元年度～令和5年度	日光林間学園	平成30年度～令和4年度	① 非精算	94,394,024円（税込）	② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費)	7,689,617円（税込）	合計（①+②）	102,083,641円（税込）	① 非精算	59,027,652円（税込）	② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費)	9,543,053円（税込）	合計（①+②）	68,570,705円（税込）
施設名	指定管理者	指定管理期間																			
鋸南自然の家	株式会社フォレスト (代表取締役 石田 浩二)	令和元年度～令和5年度																			
日光林間学園		平成30年度～令和4年度																			
① 非精算	94,394,024円（税込）																				
② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費)	7,689,617円（税込）																				
合計（①+②）	102,083,641円（税込）																				
① 非精算	59,027,652円（税込）																				
② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費)	9,543,053円（税込）																				
合計（①+②）	68,570,705円（税込）																				

6 評価委員会委員構成（計6名）

種別	氏名	役職等	専門分野
学識経験者 (有識者含む)	小林 久美 【委員長】	東京未来大学 こども心理学部教授	家庭科教育
	橘 真美子	中小企業診断士	—
区 民	大林 英夫	青少年対策弘道地区 委員会会長	—
	山下 友美	西新井第二小学校 PTA会長	—
学校長	荒川 君絵	花畑第一小学校校長	—
区職員	森田 剛	学校支援課長	—

7 評価方法

評価委員会への提出書類の確認及び所管課の実態調査により実施した。

<提出資料>

1	業務評価シート	8	個人情報取り扱いマニュアル
2	労働条件審査主要チェックシート	9	会社全体の決算報告書
3	目標設定シート	10	鍵貸出管理簿
4	前回の評価結果の反映状況	11	金銭出納簿
5	令和3年度実施報告書	12	備品修繕記録簿
6	消防計画	13	運営事業計画書
7	施設巡回簿	14	お客様アンケート集計表

8 評価結果

- (1) 鋸南自然の家 44点／65点 得点率67.6% 総合評価 B+
- (2) 日光林間学園 46点／65点 得点率70.7% 総合評価 B+
(評価項目等は、P33～44「業務評価シート」参照)

9 委員会での主な意見と対応等

- (1) 鋸南自然の家

ア コロナ禍の厳しい環境下で常にサービス向上に取り組んでおり、利用者アンケートにおける接客態度は好評で評価できる。

イ ホームページやSNSでの情報発信を適宜行い、活用できている。

ウ 令和2年度には実施できなかった自然教室を1泊2日に減泊して実施し、施設の職員の適切な対応により、大きな事故もなく全行程を終えることができた。

(対応策) 今後も感染対策を行いながら、一般利用時のイベント内容など集客につながる方法を指定管理者と共に検討していく。

	<p>(2) 日光林間学園</p> <p>ア 新型コロナウイルスの影響を受けている中でも利用者の満足度の高いサービス提供をしており、従業員への教育が行き届いている。</p> <p>イ コロナ禍の影響により消防署を招聘してのAED研修ができなかったため、DVDを活用したスタッフへの研修を工夫して行った。</p> <p>ウ 自然教室時の食事の味付け指摘があった際、早急に改善を行った。 (対応策) 時期により、飲み物の温度についての指摘があることから、指定管理者と提供方法について検討していく。</p>
<p>今後の方針</p>	<p>教育委員会及び文教委員会に報告後、11月下旬に区HPにて公表する。</p>

足立区立校外施設指定管理者評価委員会
業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立鋸南自然の家

【評価対象年度】 令和3年度 【自己評価】 令和4年6月10日 【評価委員会】 令和4年8月30日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管理運営	(1) 適切な管理の履行	基本協定や年度協定に沿って適切に管理が行われているか	評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①開館日の設定（一般利用） ◆需要を見込んだ効率的な開館計画	3	3	3.0	
		②施設・設備の保守点検（内容、回数） ◆仕様書に基づく、保守点検・環境衛生・園庭管理の実施	3	3		
		③施設の清掃（内容、回数） ◆仕様書に基づく、清掃・害虫駆除の実施と施設内の整理整頓	3	3		
		④人員配置（配置数、専門性） ◆知識・経験・技量を有する人員の配置（フロント、調理担当、設備担当）	3	4		
		⑤人材育成の取組み（知識・技術向上） ◆各種研修・講習の開催、スタッフの意識改革プログラムの実行	3	3		
			計①	15		16
			項目数②	5	5	(満点=5点)
			評価点①÷②	3.0	3.2	
	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日については、コロナの影響により、上期は4/11～9/30までの間が区要請による休館、下期は1/10～3/25の間が主にエレベーターや放送設備の大型修繕工事による休館となり予定通りの開館にはならなかった。 ・休館時には、対象となるお客様へ逆キャンセル（施設側より予約済日程での宿泊取消依頼）を丁寧に電話連絡でおこなう事で、事情をご理解いただきお客様からの苦情は無かった。 ・設備の保守点検や清掃については、指定管理仕様書での計画や回数を遵守した内容で実施した。また点検時等で判明した不具合箇所についても随時学務課へ報告し、必要箇所の修繕等を行った。 ・人員配置については、秋の集中開催日程となった自然教室期間において、通常の施設勤務者に加えて弊社他施設より必要人員の応援補充を行う事で、業務上の支障が出ないように努めた。 ・令和2年度は実施出来なかった「自然教室」が短縮日程ながら開催された事により、自然教室における情報や知識の蓄積が出来、次年度に繋がる経験となった。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理従事者について、料理長に業務依存する傾向となっていたが、令和4年度からは新卒の調理師免許取得者を採用し教育中である。調理業務での過度な負担が出ないように勤務体制をつくっていく。 ・令和3年度はコロナ禍で休館時期に受講検討していた各種講習が殆ど中止で実施出来なかったが、次年度より安全衛生推進講習等を随時受講することで、従業員間での知識向上を図っていく。 				
	区分記入欄	<p>【特記事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、区より休館の要請を行ったため、年間95日以上の開館はできず37日の開館となったことはやむを得ないと考える。 ②③現地訪問し、点検報告書等を確認した。仕様書通り適正に保守点検や清掃が行われていることを確認した。 ④通常2泊3日の自然教室を1泊2日で実施した。過密日程の中、支配人2名体制・大規模校には本社の応援体制をとり、適切な事業運営に対応していた。 ⑤HACCP研修実施。コロナで消防署を招聘してのAED研修はできなかった。 				
	記評入欄委員	<p>【評価すべき点】 開館日数が少ない中でも設備点検を適正に行い、自然教室期間中の繁忙期に他施設から応援体制を取ったことは評価できる。</p> <p>【改善すべき点】 AED研修ができなかったため、代替手段としてDVDやオンライン研修などを行ってほしい。</p> <p>【その他注意点】 特になし。</p>				
(2) 改善事項への取り組み	(2) 改善事項への取り組み	前回の評価委員会で指摘された改善事項に対してどう取り組んでいるか	評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①別紙『前回の評価結果の反映状況』を参照	3	3	3.0	
			計①	3		3
			項目数②	1		1
			評価点①÷②	3.0		3.0
			指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCPについての提案に対し、支配人と料理長が外部講師によるリモート講習受講済。更に部署毎にミーティングを行う等で意識向上を図った。 ・データの取扱注意喚起に対し、個人情報の外部持出し厳禁及び取扱周知と印刷等の情報物についてもシュレッダー即時断裁処理を徹底した。 ・食事量の指摘に対し、夕食献立の一部品目を見栄えも含めた質向上と量削減の両方を図り、改善に努めている。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>Webアンケート導入や随時情報発信によるホームページ掲載等、ネット上での課題については、施設としての集客やお客様の利便性、更に満足感に繋がるような積極的な活用が求められており、善処おこなってきたい。</p>		
			区分記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>即時対応が難しく検討していることもあるが、誠実に評価結果に対して対応できている。（HACCP研修の実施、ホームページの改良、食事量の検討など）</p>		
			記評入欄委員	<p>【評価すべき点】 Webアンケートの構築とQRコードの導入が年度途中から対応できたことは評価できる。昨年の指摘事項について徐々に対応している。</p> <p>【改善すべき点】 施設の目立つ場所にQRコードを掲示する、また、アンケート回答者にならぬの特典を用意すると、アンケート回収率の向上や、集客にもつながるため、対応してほしい。</p> <p>【その他注意点】 特になし。</p>		

大項目	中項目	確認項目				
1 管理 運営	(3) 安全性の確保	施設の安全性は確保されているか		評価点		3.0
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①防災体制（火災、地震、台風等） ◆消防計画の策定、自衛消防訓練の実施	3	3		
		②防犯体制（運営事業計画書項目） ◆館内のセキュリティ管理、夜間警備体制 ◆施設内外の巡回、来所者の把握、鍵の管理	3	3		
		③事故等緊急時の体制・対策（運営事業計画書項目） ◆危機管理マニュアル、緊急時の体制、緊急連絡先一覧等の整備 ◆災害用の食糧等の備蓄・補充	4	4		
		④施設を安全に管理するための方策 ◆設備の破損や故障などへの迅速な対応	3	3		
			計①	13	13	(満点=5点)
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.3	3.3	
			指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は途中で施設責任者である支配人の交代もあったが、防火管理者選任変更届も済ませて、自衛消防訓練も計画通り年度2回で実施した。 ・支配人の施設住込みによる常駐と毎日の夜勤従事者による体制は今年度も維持し、夜間防犯及び施設巡回管理に務めた。 ・来所者や鍵の記録簿も適切管理した。 ・従来の区側用意の災害対策用備蓄品（施設倉庫保管分）に加えて、弊社施設側でも独自に携行型の災害備蓄品を入れたリュックサックを事務所内に12個常置しており、有事に持ち出し等で即対応出来るように備えている。なお、冬場にその携行用リュックサックに入れる災害備蓄品で一部使用期限を迎えた電池等物品もあり、再度必要品を取り揃えて事務所に設置し直した。 ・設備担当者を常勤させている事から、自前で修理対応出来るものは迅速に、困難な際には関係先手配及び連絡による対処を心掛けた。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>年間の約半数日が休館となり、利用客不在時の夜間施設における常時有人勤務は必要なのか、定刻で施設施設後はセンサー式機械警備などを積極的に活用し、その分の人件費等経費削減に努めるべきではとの課題が挙げられている。令和4年度も現行の夜勤体制は維持していくが、今後関係各位との協議の中でより良い方向となるよう取り決めをおこなっていききたい。</p>		
	区記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>①②館内における防犯対策、防災対策などは問題なく実施できている。支配人の常駐・夜間スタッフによる巡回を実施。鍵も適正に管理し、紛失などの事故もなかった。</p> <p>③区が設置した災害用備蓄品以外に常時持ち出し可能な携帯用リュックを事務所に配置している。</p>				
	記評入備欄委員	<p>【評価すべき点】問題なくできており、備蓄品や防犯グッズの点検や適切な管理を行っている点が評価できる。</p> <p>【改善すべき点】支配人への作業負担の軽減を考慮してほしい。（常に非常時に備えなければならないため）</p> <p>【その他注意点】会社全体と、館南、地域との連携BCPの策定が必要ではないか。</p>				
	(4) 法令等の遵守（※倫理性も含む）	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点		3.0
		指定管理者	担当課	評価委員		
	①個人情報保護の取組み ◆内部規定の策定、研修の実施	3	3			
	②個人情報事故への対応 ◆個人データの漏洩や紛失事故の有無、データアクセスのID制御	3	3			
	③労働条件の遵守（労働基準法、労働安全衛生法等） ◆労働条件審査主要チェックシート等による確認	3	3			
	④各種法令等の遵守 ◆防火管理者・食品衛生責任者等の配置	3	3			
		計①	12	12	(満点=5点)	
		項目数②	4	4		
		評価点①÷②	3.0	3.0		
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に係る事案及びSNSでの不適切投稿（個人情報・社外秘の漏洩）の事案があった際は、毎月1回弊社運営各施設支配人が集うリモート会議にて情報共有をおこない、支配人より施設従業員間へ周知する事で漏洩防止に努めている。令和3年度は全社で該当する事案は無かった。 ・施設においても個人データ含む情報の外部持ち出し厳禁及び取扱周知と印刷等の情報物に関してもシュレッダー即時断裁処理を徹底している。 ・施設全従業員勤務時間を毎日本社報告で義務付けており、それに伴い弊社総務部が随時勧告や指導をおこなう事で、就労時間の適切管理に務めている。 ・防火管理者は支配人、食品衛生責任者は料理長を選任し、法令に準じた有資格者を適切に配置している。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>特になし。</p>			
		区記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>個人情報についての研修を職員全員に行っており、個人情報漏洩等の事故もない。各種法令遵守されている。</p>			
		記評入備欄委員	<p>【評価すべき点】高い頻度で、個人情報研修を実施しており、個人情報漏洩等の事故がなく、各種法令順守されている点が評価できる。</p> <p>【改善すべき点】特になし。</p> <p>【その他注意点】特になし。</p>			

大項目	中項目	確認項目				
1 管理運営	(5) 適切な財務・財産管理	適切な財務・財産管理が行われているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		①収支状況(安定的な運営) ◆収支計画に沿った予算執行を行っているか。決算状況は良好か。 ◆経費削減に向けた取組を行っているか ◆会社全体の安定的な運営ができていますか	3	3	3.0	
		②現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆受入れた管理費は適切に記帳処理がされているか ◆帳簿・関係書類の整備・保存、経理状況の明確化	3	3		
		③経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 ◆現金、貴重品の取扱い時の二重チェック体制の構築	3	3		
		④備品の管理 ◆動作確認、修繕・買替え計画	3	3		
			計①	12	12	(満点=5点)
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.0	3.0	
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ影響での休館が多かった為、収支計画の想定通りの収入は得られなかったが、保守点検や環境衛生といった管理業務は計画に沿って実施をおこなった。 ・売上金等は発生後に速やかに金融機関へ入金記帳処理を行い、施設での現金保持は極力行わないように努めている。また経理業務は相互で行うことで、ミスを無くし1人に依存しない体制をとっている。更に対象銀行のネットバンキングを活用する事で、入金状況についても弊社経理部で常時把握出来るようにしている。(施設の出納責任者は支配人) ・区との協定に基づいた施設修繕費を適切に運用するように心掛け、施設修繕が必要になった際は、区担当者へ修繕内容の事前説明や2社以上の見積提示、承認後の作業実施を順守した。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>当施設が建てられてから約30年が経過し、箇所での故障時に該当適品が廃盤となっているケースが目立つ。特に照明器具は一部を除き、LED化が進んでいない箇所が多く、今後も当該修繕には注意を払って対処していく。</p>			
区記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>①コロナ禍で区の要請による休館期間が長く、一般開放収入は大幅減となったが、収支としては黒字となった。</p> <p>②売上金は毎日入金し本社と二重チェックしている。小口現金については、帳簿に記入し、領収書を添付したものを本社に送りチェックしている。</p>					
記評価委員欄	<p>【評価すべき点】会社全体として、営業売上が伸び悩む中で、販管費の抑制や補助金・給付金の活用で最終利益を確保している点や、現場での金銭管理の透明化を徹底している点が評価できる。</p> <p>【改善すべき点】特になし。</p> <p>【その他注意点】原油・物価高騰で、売上総利益や営業利益の回復が難しい中、原価や経費の抑制を引き続き努力していく必要がある。また、備品等の経年劣化等で、廃棄や交換を行う際は、その時にあったものを用意してほしい。</p>					
2 事業効果	(6) 事業の取り組み	事業計画どおりのサービスが提供されているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		①区民サービス向上に向けた取組み・方策 ◆区民(利用者)がより快適な時間をすごせるようなサービスの提供 ◆地域のイベント、季節の花、気象情報、交通情報などの情報提供	3	3	3.2	
		②一般利用者へ適正かつ確実なサービス提供 ◆予約・利用申込みは、区の規定に従い優先順位の遵守、利用時間の遵守 ◆利用者の立場に立ちながら、公平な利用機会の提供	3	3		
		③多様化する利用者からのニーズに対応する取組み ◆車いす利用者の方への対応 ◆高齢・障がいをお持ちの方への対応 ◆子育て世帯への対応	3	3		
		④利用者とのトラブル防止策 ◆対応マニュアル等による従業員への徹底、ヒューマンエラーの防止策 ◆トラブル内容の明確化と原因の調査、従業員への周知と業務への反映	3	4		
		⑤賄い業務体制と衛生管理の取組み ◆食事の質の向上への取組み、季節にあわせたメニューの提供、特別料理の提供など ◆食品衛生・環境衛生への配慮	3	3		
			計①	15	16	(満点=5点)
			項目数②	5	5	
			評価点①÷②	3.0	3.2	
指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設常置の社用車は、最寄り駅や道の駅など近隣への利用客送迎で主に使用しており、利用客が希望する時間帯に運行出来るようにし、利便性を高めている。 ・年末年始やゴールデンウィークなどの人気日は予約申込開始時期を尋ねる電話が多くあるが、施設の申込規定を丁寧に説明する事でご理解を頂けるよう努めている。 ・車いす利用者の方へはバリアフリーールームを用意し、電話説明の他、ウェブ抽選申込み画面でも該当要望項目を設けるなどして積極利用を促している。 ・正月三が日にはミニおせちを盛り込んだ朝食を提供する事で皆様にとっても喜んでいただいた。また海近くの立地から刺身舟盛合せの注文を受ける事が多々あるが、そのボリュームは毎回お客様に驚かれる位の内容となっており、ご好評頂いている。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>施設前の保田川沿いには河津桜(房総エリアでは源氏ゆかりの「頼朝桜」と呼ばれる)があり、早春には見物客もいる。また施設への坂道にはソメイヨシノが多く植えてあり、満開時には見事で過去には映画ロケにも使われた。その他敷地内の樹木等自然風景をよりアピールしていけるよう努めたい。</p>					
区記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>①②利用者の希望時間に合わせた送迎や問い合わせへの丁寧な対応、インターネット抽選予約による利便性の向上など、サービス向上に努めている。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症拡大に伴い4月~9月休館、再開が不明な中、毎月抽選を実施し、予約を受けてからキャンセルの連絡という状態が続いたが、予約していた利用者丁寧に丁寧な説明を行い、苦情は発生しなかった。(逆キャンセル 641件/4,265人)</p> <p>⑤希望者に特別料理(刺身盛り合わせ)を提供し非常に好評を得ている。</p>					
記評価委員欄	<p>【評価すべき点】アンケートより、スタッフの丁寧なサービスが伺える。駅までの送迎だけでなく、観光地への送迎も対応しているところが評価できる。特別料理についても評価が高い。</p> <p>【改善すべき点】地域と連携し、人材や食材についても交流や流通を行ってほしい。また、集客のため、年末年始やゴールデンウィークなどの繁忙期にSNSで情報を流してみたい。</p> <p>【その他注意点】特になし。</p>					

大項目	中項目	確認項目				
2 事業 効果	(7) 自然 教室 への 取組 み	自然教室について適切に運営がされているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①校外学習の向上に向けた取組み・方策 ◆児童が集団生活の中で、社会性・自律性・創造性を学ぶためへの支援 ◆施設内や施設外の附属設備で実施可能なプログラムの検証・提案	3	3	3.3	
		②食育に向けた取組み・方策 ◆食への感謝と理解を深め、食に対する楽しさや興味への喚起、食材や栄養への知識の提供 ◆栄養バランスの整った食事、野菜摂取量、おいしい給食(食事)への取組み	3	3		
		③アレルギー対応 ◆学校との打ち合わせ、チェック体制、配膳方法	3	3		
		③感染症対策(感染性胃腸炎他) ◆予防と拡大防止、児童の健康情報の学校との共有化	4	4		
			計①	13	13	(満点=5点)
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.3	3.3	
		指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】 ・令和3年度はコロナ禍の影響もあり、秋3カ月間の短期集中型での自然教室開催、更に1泊2日行程に短縮しつつも区の小学校全69校を迎える事が出来た。 ・自然教室献立は全て事前に使用食材や内容を取り決め、カロリー表や野菜摂取量表についても事前提出をおこない、学務課を通じて学校関係者がいつでも内容確認出来るようにした。 ・期間中は施設独自に2階にある1部屋を専用隔離室と設定し、発熱等の体調不良時にすぐに移り、病院受診や保護者迎えの為に判断待つ待機部屋として使用した。なお、令和3年度自然教室利用時におけるコロナウイルス感染者が発生する事は無かった。 【改善すべき点・課題等】 アレルギーについては、専用対応カードを作成し学校側との事前やり取り、当日は引率教諭と対象児童と施設責任者の3者立会いでの現品確認をして渡すなど、対策を諸処に講じていたが、学校側との対応カードの認識違いによる提供品差異が当日判明する事案が1件発生した。判明後にすぐに適した品に変更した為、児童への被害はなかったが、再発防止の為に学務課と協議し対応カードは令和4年度から、より判断し易く的確なものへと書式変更をおこなった。			
区 記 入 欄	【特記事項】 ③新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、秋からの3か月に集中した1泊2日での実施となり、児童の入れ替わりが激しくアレルギー対応も困難な中、学校との打ち合わせを綿密に行い、大きな事故なくスムーズに全69校実施することができた。 ④感染症対策については、学務課と協議しながら食堂の座席や部屋割り、風呂の時間延長、消毒などきめ細やかな対応をし、自然教室期間中に感染者は発生しなかった。					
記 入 欄 評 価 委 員	【評価すべき点】感染症対策徹底により、自然教室期間中にコロナの感染者発生がなかったことは評価できる。短い宿泊で、入れ替えの対応が困難な中、適切に対応できたことは評価できる。また、チェック体制の整備や実施により、提供品の差異にも気づくことができ、改善案を策定したことも評価できる。 【改善すべき点】鑑南でしかできないこと等地域と一緒に計画してみてもどうか。また、子供たちからのアンケートを取ってみたいかどうか。 【その他注意点】感染症の流行状況に合わせた、学校以外の公共の場でのルールやマナーを児童に意識づけする取組みがあると良い。また、アレルギーは命に関わるため、注意してほしい。					
(8) 利用 率 向 上 の 取 組 み	利用率向上の取組みがされているか		評価点			
		指定管理者	担当課	評価委員		
	①一般利用者の利用率が上がる自主企画の提案 ◆地域特性を活かしたプログラムの実施・新規プログラムの開拓 ◆利用者が少ない時期に利用者増を目的に実施する企画やサービス等の実施	3	4	3.8		
	②利用率向上に向けた情報発信 ◆SNS、広報等の活用等 ◆区民利用を促すための独自の広報戦略	3	4			
		計①	6			8
		項目数②	2			2
		評価点①÷②	3.0	4.0	(満点=5点)	
	指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】 施設内の各階には海洋生物を模った壁画が約50箇所あり、付近に生物名称を掲示しているが、それを使ったクイズ形式のイベントを年末年始や春休みに区民一般宿泊時での子供向け企画として実施した。館内探索をしつつ壁画名称を見つけるという企画は、参加した子供達をはじめ見守った保護者の方達にも好評頂いた。 【改善すべき点・課題等】 ホームページ上やツイッターなどでの地域情報等の発信や運用をより充実させることが次年度以降の課題となっている。個人情報等の取り扱いには留意しつつ、SNS活用は集客にも繋がる為、アピールしていきたい。				
	区 記 入 欄	【特記事項】 ①コロナ禍で休館も長く、自主企画の実施が難しい状況ではあったが、子供向けイベントなどを実施し、お客様に好評だった。 ②休館中も近隣の食や観光の情報などを定期的にツイッターにて発信した。(合計21回)				
	記 入 欄 評 価 委 員	【評価すべき点】施設の壁画を活かしたプログラムを行い、創意工夫したことは良かった。子供向けのイベントやSNS発信も定期的に行っている点が評価できる。 【改善すべき点】Twitterにハッシュタグを付けて検索しやすくしたり、インスタグラムへの投稿を検討するのはどうか。また、Twitterフォローしてくれた方に、特典があるとのおいしいのではないかと。 【その他注意点】特になし。				

大項目	中項目	確認項目				
2 事業 効果	(9) 利用 の 状 況	計画どおりの利用状況となっているか	評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①利用状況 ◆年間利用者数（一般利用者の延べ数）	3	3	3.0	
		②施設稼働率 ◆年間稼働率（一般利用者への開館日に対する稼働率）	3	3		
			計①	6	6	(満点=5点)
			項目数②	2	2	
			評価点①÷②	3.0	3.0	
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】 令和3年度の一般利用における開館日は37日、利用者数は2,010名、稼働率は55.5%との結果となった。区の優先予約である関係団体客の多くが取り消しとなり、一般利用者でもコロナ禍を懸念しての予約後の取消も多く、開館中も集客苦戦し計画時の想定は下回ったが、ご家族でのご利用を頂いた事が主因となり、本実績となった。</p> <p>【改善すべき点・課題等】 令和4年度はコロナやその他の要因による休館は無い事を前提に、一般開放日を109日予定しており、夏休みも多く開館する予定の為、より多くの利用者を迎えたい。</p>			
		区記入欄	<p>【特記事項】 利用者数は前年比減、稼働率も低い水準となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う区の休館要請や、利用者の外出自粛などが主な要因と考えられるため、やむを得ないとする。今後、コロナ終息後に利用者を取り戻すための方策が必要になる。</p>			
		記 評 入 欄 委 員	<p>【評価すべき点】緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発令される中で、少ない開館日の中で利用者を確認し、対応を行った点が評価できる。 【改善すべき点】特になし。 【その他注意点】国の旅行施策が増えてくることが予想される中で、当館を旅行先として選んでもらうよう区民へのアプローチを検討されたい。</p>			
(10) 利用 者 の 満 足 度	利用者の満足を得られているか（×2）	評価点				
		指定管理者	担当課	評価委員		
		①従業員の接客態度 ◆親切さ、説明のわかりやすさ、電話対応等、アンケート（従業員の対応）の評価	8	10	8.0	
		②施設・設備 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、案内サイン等、アンケート（客室・風呂）の評価	6	10		
		③食事 ◆提供する内容、アンケート（食事の味や量）の評価	6	8		
		④苦情・要望対応 ◆苦情・要望等の対応の適切さ・迅速さ	6	6		
			計①	26	34	(満点=10点)
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	6.5	8.5	
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】 ・アンケートにおいて、接客態度は非常に高評価を継続して頂戴している。特にフロント受付においては、社会情勢から施設開館日程の変更が多々ある中でも、電話等で懇切丁寧な説明を繰り返す事で、利用者のご理解を頂き、大きな不満の声が挙がる事は無かった。 ・お客様からの「以前はしてくれた、こうだった」といった要望については、現在の規定を前提に丁寧に説明しつつも、お客様の心情等も理解する事に努め、出来る限りの対応をおこなうように心掛けている。</p> <p>【改善すべき点・課題等】 ・湯温不安定のご指摘については、温度調整における機器不具合等から発生しており、適温保てるよう施設設備担当者が出来る限りの諸対応をおこなっているが、根本的な解決には大掛かりな修繕が必要であり、学務課はじめ関係先と今後も協議していく。 ・食事の味についての低評価は少ないものの、温かい状態で提供して欲しい旨のご要望は受けており、料理内容やその提供方法等については今後も改善をおこなっていききたい。</p>			
区記入欄	<p>【特記事項】 利用者アンケートにおける「大いに満足」+「満足」の割合 ①従業員の接客態度：99.2%と非常に高い評価を受けている。今後も継続してほしい。 ②施設・設備：96.3% ③食事：92.5% ④苦情・要望対応は即時できることは対応している。指定管理者ができないことは区に報告している。</p>					
記 評 入 欄 委 員	<p>【評価すべき点】効率的な運営ができない中で、お客様からの満足度の高い評価のため、今後も維持できるようにしてほしい。 【改善すべき点】わずかではあるが、評価があまり良くない意見もじっくり検討してほしい。 【その他注意点】アンケートの意見への対応で、すぐに対応できることや時間がかかるものに分け、すぐに対応できるものは当日中に行うと良い。</p>					

大項目	中項目	確認項目					
2 事業 効果	(1) 自然教室における学校の満足度	自然教室において学校の満足を得られているか(×2)		評価点		評価委員	
		指定管理者	担当課				
		①施設・運営 ◆教員・児童への対応、施設の清潔さ、学校からの実施報告書での評価等	8	10	7.8		(満点=10点)
		②食事 ◆学校からの実施報告書による味付け・量・残菜等の評価	6	6			
		③児童のけが・病気への対応 ◆施設看護師の処置・手当て、病院への送迎等	8	8			
		計①	22	24			
		項目数②	3	3			
		評価点①÷②	7.3	8.0			
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】 ・一泊のため毎日学校が入替わる集中開催であったが、スケジュール調整などを密に行う事で、運営面での評価は概ね好評であった。 ・令和3年度自然教室においては全校実施の中で、1件も病院受診や搬送対応は無く、感染症及び大きな怪我人が出るような事態とはならなかった。なお事態に備えて搬送用の車両は施設に常置し、いつでも職員が搬送出動できるように勤めていた。</p> <p>【改善すべき点・課題等】 11月から12月にかけての実施報告書にて、食事が冷えているとのご指摘が多くあり、次年度より改善を行う為に学務課とも協議し、汁物提供において長時間保温可能な専用保管容器を導入することとなった。更に一部料理（ハンバーグ）は、児童が召し上がる直前になるよう着席5分前を目途に施設職員の手によって熱いソースを掛ける対処をおこなうなど、より美味しく満足頂けるような対処を出来る限り実施していくことを取り決めた。</p>				
		区分記入欄	<p>【特記事項】 学校からの実施報告書における「大変よい」+「よい」の割合 ①施設・運営：97.1% ②食事：67.1%（食事が冷めているとの意見が多く、R4は改善に向け対応している） ③自然教室での児童の病気・ケガなどに丁寧に対応し、学校からの評価も高かった。</p>				
記入評価欄委員	<p>【評価すべき点】学校からの評価も高く、満足度が高い運営をしている。冬場の温かい料理の提供を心がけたり、体調不良時の児童への対応も大変協力的であるため、今後も継続してほしい。 【改善すべき点】冬季の食事や飲み物の温度や提供方法は、今後も工夫して提供するしてほしい。 【その他注意点】非常時に施設の車両があるのは心強いが、場合によっては緊急車両の手配が無難な場合もあるため、その都度検討してほしい。</p>						
		41.3	45.4	44.1			
		(満点=65点)	(満点=65点)	(満点=65点)			

評価委員 評価意見	<p>コロナ等の影響で閉館日が少ない中、事故等もなく、円滑に運営されていた。利用者の満足度も高く、スタッフの親切な対応や情報発信なども、きちんと取り組んでいることが伺える。自然教室でも児童が喜んで利用しており、食事や施設の適切な管理ができています。厳しい意見もあるが、安全・安心にこれからも、利用者の意見に耳を傾けて、更なる改善を図ってほしい。</p>
--------------	--

【評価委員会評価結果】

評価委員会 評価結果	得点	評価
	44	B+

ランクダウン
有・無

総合評価
B+

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【評価委員会評価基準】

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
65点	39点	59点以上	54点以上 58点以下	49点以上 53点以下	44点以上 48点以下	39点以上 43点以下	36点以上 38点以下	35点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」……評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上げ）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨て）とする。

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区日光林間学園

【評価対象年度】 令和3年度 【自己評価】 令和4年6月10日 【評価委員会】 令和4年8月30日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管理運営	(1) 適切な管理の履行	基本協定や年度協定に沿って適切に管理が行われているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①開館日の設定（一般利用） ◆需要を見込んだ効率的な開館計画	3	3	3.0	
		②施設・設備の保守点検（内容、回数） ◆仕様書に基づく、保守点検・環境衛生・園庭管理の実施	3	3		
		③施設の清掃（内容、回数） ◆仕様書に基づく、清掃・害虫駆除の実施と施設内の整理整頓	3	3		
		④人員配置（配置数、専門性） ◆知識・経験・技量を有する人員の配置（フロント、調理担当、設備担当）	3	3		
		⑤人材育成の取組み（知識・技術向上） ◆各種研修・講習の開催、スタッフの意識改革プログラムの実行	3	3		
			計①	15	15	(満点=5点)
			項目数②	5	5	
			評価点①÷②	3.0	3.0	
	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日は区民の利用の希望があると思われる日を推定し、設定したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、足立区からの休館の要請に従い休館の対応をした為、計画通りの開館にはならなかった。 ・施設の利用予約状況を区へ報告し、閉館となる日程等を「日光公式ホームページ」に掲載、ご予約を頂いていたお客様へ逆キャンセルの対応をした。お客様に対しては丁寧に説明し、問題なく全てのお客様にご了承いただくことができた。 ・設備の保守点検・清掃は、仕様書通りに実施した。設備担当者を中心に日常の館内巡回点検と光熱水のメーター点検を行い、異常の早期発見に努め、大きな事故は発生していない。 ・昨年に引き続き上半期の休館に伴う離職者は無く、休館期間中も適切な人員を確保し、営業再開に備え下半期からの対応を行った。 ・日光消防署を招聘しての救命救急講習を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講習を実施することが出来なかった為、感染予防対策をした上で、AED取り扱いのDVD鑑賞による社内研修を実施し意識を高めた。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>日光消防署の署員を招聘しての救命救急講習は、コロナの状況が好転して受講が可能な状況になったら実施したい。</p>				
	区記入欄	<p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染拡大に伴い、区より休館の要請を行ったため、年間95日以上の開館は出来ず、37日の開館となったことはやむを得ないと考える。 ②③現地訪問し、点検報告書等を確認。仕様書通り適正に保守点検や清掃が行われていることを確認した。 ④通常2泊3日の自然教室を1泊2日で実施した。看護師、有資格者を適正に配置しており、有事の際、支配人が迅速に対応できる体制を取っている。 ⑤HACCP研修実施。AED研修は消防署員を招いてはできなかったが、DVDによる研修を実施し知識の向上を図っている。 				
	記評価委員欄	<p>【評価すべき点】 AED研修について、消防署からの講師派遣ができなかったが、DVDによる研修を行い、実施したことは評価できる。</p> <p>【改善すべき点】 特になし。</p> <p>【その他注意点】 特になし。</p>				
(2) 改善事項への取り組み	改善事項への取り組み	前回の評価委員会で指摘された改善事項に対してどう取り組んでいるか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①別紙『前回の評価結果の反映状況』を参照	3	3	3.2	
			計①	3	3	(満点=5点)
			項目数②	1	1	
			評価点①÷②	3.0	3.0	
			指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回収率を上げるため、チェックイン時にボードにアンケート用紙と筆記用具を挿込んだものをお客様へ直接渡していたが、更にお声がけを行い、アンケート回収率の増加に努めた。（R2:回収率44.8%⇒R3:回収率49.0%） ・旅館・ホテルにおけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理手引書を基に支配人と料理長が外部講師によるリモート講習を受講し、部署ごとにミーティングを行った。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>特になし。</p>		
			区記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>即時対応が難しく、検討していることもあるが、誠実に評価結果に対して対応できている。（アンケート回収率の増加、HACCP研修の実施、個人情報研修の全職員への実施等）</p>		
			記評価委員欄	<p>【評価すべき点】 アンケートの回収方法をQRコードを作成することで回収率が上がったことは評価できる。また、前回の評価を反映させ、HACCP研修等を行い、施設運営の向上に努めたことも評価できる。</p> <p>【改善すべき点】 アンケートの回収率の更なる向上を目指してほしい。（答えやすい回答量、チェックアウト時の促し、施設内にQRコードを掲示するなど）</p> <p>【その他注意点】 湯葉などの地域の特産物だけではなく、地元の食材もアピールできると良い。</p>		

大項目 中項目 確認項目

大項目	中項目	確認項目				
		指定管理者	担当課	評価委員		
1 管 理 運 営	(3) 安 全 性 の 確 保	施設の安全性は確保されているか				
		①防災体制（火災、地震、台風等） ◆消防計画の策定、自衛消防訓練の実施	3	3	3.0	
		②防犯体制（運営事業計画書項目） ◆館内のセキュリティ管理、夜間警備体制 ◆施設内外の巡回、来所者の把握、鍵の管理	3	3		
		③事故等緊急時の体制・対策（運営事業計画書項目） ◆危機管理マニュアル、緊急時の体制、緊急連絡先一覧等の整備 ◆災害用の食糧等の備蓄・補充	3	4		
		④施設を安全に管理するための方策 ◆設備の破損や故障などへの迅速な対応	3	3		
			計①	12	13	3.5
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.0	3.3	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・施設責任者(支配人)を防火管理者に選任し、支配人が中心となって自衛消防訓練を実施した。スタッフ全員が有事の際に的確に対応出来る様に備え、キャンプファイヤーの実施時には日光消防署に連絡・報告を入れ、防火に努め安全に配慮して実施した。 ・不審者対応に関わる防犯講習が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から警察署の講師を招聘して実施することが出来なかった。防犯用品のサスマタ・ネットランチャー・護身用防犯スプレーは点検している。 ・AEDの点検については、区の通達に基づいて毎日実施した。 ・夜間はスタッフによる巡回を実施し、施設内で生活する副支配人が非常時には、警備会社と協力し対応出来る体制を整え続けている。 ・令和3年度は雪が多く、積雪時には、早朝よりスタッフが駐車場や館内に入る道・階段等の除雪並び融雪剤での融雪を行い、お客様の雪による転倒事故防止を図った。 ・非常時に備えた食糧の備蓄は、賞味期限を事前に区へ報告・連絡・相談し、全て新しく交換した。以前の備蓄は、フードバンクに寄付した。また、備蓄食材のアレルギー対応については、成分を表示する事で全社員が正確な知識と共通認識を持てるよう図った。 ・日常的に使う食材のうち、米・塩は1週間分相当を常時オーバーストックし、緊急災害時にも食事提供ができるように、プロパンガス炊き出しセットも設置継続している。 ・区側用意の災害備蓄品の他に、弊社でもリュックサック型の災害備蓄品を13個用意し、有事の際に備えている。			
			【改善すべき点・課題等】 外部講師を招聘しての研修が出来ない状況が改善され、実施可能となったら、日光警察署の署員を招聘しての研修を実施したい。			
区記入欄	【特記事項】 ①②館内における防犯・防災対策などは問題なく実施出来ている。夜間スタッフによる巡回の実施、鍵も適正に管理し、紛失などの事故もなかった。 ③区が設置した災害用備蓄品以外に常時持ち出し可能な携帯用リュックを事務所に設置している。					
記評価委員欄	【評価すべき点】問題なくできており、備蓄品や防犯グッズの点検や適切な管理を行っている点が評価できる。 【改善すべき点】支配人への作業負担の軽減を考慮してほしい。（常に非常時に備えなければならないため） 【その他注意点】 ・会社全体と、日光、地域との連携BCPの策定が必要ではないか。 ・周囲が杉林に囲まれているため、キャンプファイヤー時の火の取り扱いに注意する。チェックシートなどを使用して残り火のチェックができると良い。 ・警察との協力による不審者対応の訓練も、可能となった際は実施してほしい。					
(4) 法 令 等 の 遵 守 (※ 倫 理 性 も 含 む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか					
	①個人情報保護の取組み ◆内部規定の策定、研修の実施	3	3	3.0		
	②個人情報事故への対応 ◆個人データの漏洩や紛失事故の有無、データアクセスのID制御	3	3			
	③労働条件の遵守（労働基準法、労働安全衛生法等） ◆労働条件審査主要チェックシート等による確認	3	3			
	④各種法令等の遵守 ◆防火管理者・食品衛生責任者等の配置	3	3			
		計①	12	12	(満点=5点)	
		項目数②	4	4		
		評価点①÷②	3.0	3.0		
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・個人情報保護について、データアクセスのID制御はないが、個人情報を扱うPCIにパスワードを設定し、担当者以外は分からないようにしている。USB等を用いてのデータ持出の禁止を徹底し、R3年度も個人情報流出等の事故はなかった。 ・全職員がマニュアルを元に個人情報研修を受け、情報共有した。個人情報保護に係る事案やSNSへの不適切な投稿（個人情報・社外秘の漏洩）の事案があったときは弊社が運営する支配人が集うリモート会議にて情報共有し、支配人よりスタッフへ周知している。 ・繁忙期・閑散期があるが、勤務シフトや社内の応援人員の調整をし、4週4休以上の休日を与え、閑散期には有給休暇の取得を奨励し、会社として離職者を出さず、対応している。				
		【改善すべき点・課題等】 特になし。				
区記入欄	【特記事項】 個人情報についての研修を職員全員に行っており、個人情報漏洩等の事故もない。各種法令遵守されている。					
記評価委員欄	【評価すべき点】個人情報研修を実施しており、個人情報漏洩等の事故がなく、各種法令順守されている点や、コロナによる厳しい運営状況のため、離職者がいない点は評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】個人情報研修を1年に1度のペースで行うことで、意識の維持を図ってほしい。					

大項目	中項目	確認項目					
1 管理 運営	(5) 適切な財務・財産管理	適切な財務・財産管理が行われているか		評価点		3.0	
			指定管理者	担当課	評価委員		
		①収支状況(安定的な運営) ◆収支計画に沿った予算執行を行っているか。決算状況は良好か。 ◆経費削減に向けた取組を行っているか ◆会社全体の安定的な運営ができていますか	3	3	3.0		
		②現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆受入れた管理費は適切に記帳処理がされているか ◆帳簿・関係書類の整備・保存、経理状況の明確化	3	3			
		③経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 ◆現金、貴重品の取扱い時の二重チェック体制の構築	3	3			
		④備品の管理 ◆動作確認、修繕・買替え計画	3	3			
			計①	12	12		(満点=5点)
			項目数②	4	4		
			評価点①÷②	3.0	3.0		
		指定管理者 記入欄	【アピールポイント】 ・金銭の管理は、令和3年度も本部経理部が主導で行い、施設では小口現金と宿泊費等の現地精算分の売上金以外は取り扱わない体制を継続した。現地精算分の売上金については、施設と本社の両方で確認する二重チェックを継続して行った。 ・現金、貴重品は事務所金庫にて保管し、売上金は日々入金している。入金は支配人のみが行い、他の職員は行わない体制としている。 ・過去の修繕履歴を踏まえ、経年劣化が見受けられる備品や買替が必要と思われる備品については、早期に区担当者へ連絡・相談をするよう努めている。また、突然の不具合の際は、速やかに報告・相談を行い対応している。 【改善すべき点・課題等】 会社全体も新型コロナウイルスの影響を大きく受け、想定していた収益は上げられなかった。日光林間学園・会社全体ともにコロナの事態終息後の集客及び経費管理を徹底し、収益の向上を図っていきたい。				
区 記入欄	【特記事項】 ①収支は赤字となったが、休館による利用料収入の減が主な要因であり、やむを得ないと思う。また、会社全体としては、新型コロナウイルスの影響により収益は低い、運営に支障はないと考える。 ②売上金は毎日入金し本社と二重チェックしている。小口現金については、帳簿に記入し、領収書を添付したものを本社に送りチェックしている。						
記 入 欄 委員	【評価すべき点】会社全体として、営業売上が伸び悩む中で、販管費の抑制や補助金・給付金の活用で最終利益を確保している点や、現場での金銭管理の透明化を徹底している点が評価できる。 【改善すべき点】特になし。 【その他注意点】原油・物価高騰で、売上総利益や営業利益の回復が難しい中、原価や経費の抑制を引き続き努力していく必要がある。						
2 事業 効果	(6) 事業の 取り組み	事業計画どおりのサービスが提供されているか		評価点		3.5	
			指定管理者	担当課	評価委員		
		①区民サービス向上に向けた取組み・方策 ◆区民(利用者)がより快適な時間をすごせるようなサービスの提供 ◆地域のイベント、季節の花、気象情報、交通情報などの情報提供	3	3	3.5		
		②一般利用者へ適正かつ確実なサービス提供 ◆予約・利用申込みは、区の規定に従い優先順位の遵守、利用時間の遵守 ◆利用者の立場に立ちながら、公平な利用機会の提供	3	3			
		③多様化する利用者からのニーズに対応する取組み ◆車いす利用の方への対応 ◆高齢・障がいをお持ちの方への対応 ◆子育て世帯への対応	3	3			
		④利用者とのトラブル防止策 ◆対応マニュアル等による従業員への徹底、ヒューマンエラーの防止策 ◆トラブル内容の明確化と原因の調査、従業員への周知と業務への反映	3	4			
			計①	15	16		(満点=5点)
			項目数②	5	5		
			評価点①÷②	3.0	3.2		
		指定管理者 記入欄	【アピールポイント】 ・お客様の送迎に使用する学園車内に、飛沫防止フィルムを設置し、感染拡大の防止に務めている。 ・館内(エレベーターを含む)のボタン、スイッチ等に抗菌シールを貼る取り組みをし、感染症拡大の防止に務めている。 ・ホームページを改修し、R3からインターネットによる抽選予約申込を開始した。予約の半数以上がインターネットからの受付となっている。 ・トイレについて、お客様より冷たいとの指摘を多数頂いていた為、先行で13カ所を暖房便座に交換し、満足度向上に努めた。 ・お客様が快適に過ごせるよう浴室脱衣所の棚の剥がれや客室の板の間の塗装剥がれの修繕を行った。 ・お客様の要望により、部屋にティッシュペーパーを常置した。 ・車いすや盲導犬利用のお客様には、205号室や職員用浴室の案内を行い、不自由なく宿泊出来る様サポートしている。また、何らかの事情で大浴場に入浴出来ないお客様にも、通常開放していない職員用浴室をご利用頂く対応をとっている。 ・食事メニューは季節毎に変更し、正月には特別メニューの提供を行い、いつ宿泊してもお客様に満足いただけるよう努めている。				
区 記入欄	【改善すべき点・課題等】 特になし。 【特記事項】 ①暖房便座の設置、部屋へのティッシュの設置、コーヒーマシンなどきめ細やかな対応をしている。 ④新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4~9月まで休館をし再開が不明な中、毎月抽選を実施し、予約を受けてからキャンセルの連絡をするという状態が続いたが、予約していた利用者に丁寧な説明を行い、苦情は発生しなかった。(逆キャンセル 299件/2,678人)						
記 入 欄 委員	【評価すべき点】利用者の要望に応え、部屋ごとのティッシュの設置や暖房便座の設置、キャンセルへの丁寧な対応により苦情がなかった点は評価できる。 【改善すべき点】エレベーターの到着音が大きく感じたため、確認してほしい。 【その他注意点】特になし。						

大項目	中項目	確認項目					
2 事業 効果	(7) 自然 教室 への 取組 み	自然教室について適切に運営がされているか		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員		
		①校外学習の向上に向けた取組み・方策 ◆児童が集団生活の中で、社会性・自律性・創造性を学ぶためへの支援 ◆施設内や施設外の附属設備で実施可能なプログラムの検証・提案	3	3	3.3		
		②食育に向けた取組み・方策 ◆食への感謝と理解を深め、食に対する楽しさや興味への喚起、食材や栄養への知識の提供 ◆栄養バランスの整った食事、野菜摂取量、おいしい給食(食事)への取組み	3	3			
		③アレルギー対応 ◆学校との打ちあわせ、チェック体制、配膳方法	3	3			
		④感染症対策(感染性胃腸炎他) ◆予防と拡大防止、児童の健康情報の学校との共有化	4	4			
			計①	13	13	(満点=5点)	
			項目数②	4	4		
			評価点①÷②	3.3	3.3		
		指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】 ・自然教室が10月～12月に、1泊2日に短縮して実施された。自然教室期間中は、学務課との協議により、部屋の利用人数制限、食堂の椅子の配置・配膳、片付け方法、施設内の消毒等の感染対策を行い対応し、期間中に新型コロナウイルス感染症の感染者が出ることは無かった。 ・自然教室の献立に関しては、添加物の入った食材の使用を極力減らしたものを提供した。 ・児童の病気による看護師対応は7件・ケガ等による看護師対応は4件・ケガ、病気などによる病院搬送は2件・児童の途中帰宅は1件だった。				
区 記 入 欄	【改善すべき点・課題等】 アレルギー対応児童に違う児童の持参食を提供してしまった。喫食前の最終確認時も、全く同じ商品だったため、気が付くことができなかった。再発防止のため、持参食への記入の徹底、打合せ時の担当教諭への確認徹底、保管方法の厳格化、新たなチェックシートを作成するなどの改善を図った。						
記 入 欄 評 価 委 員	【特記事項】 ③持参食の取違いがあったが、全く同じ食品であったため事故にはならなかった。しかし、同じ事故を繰り返さないよう対応方法の改善を行った。また、1泊2日での実施であったため、児童の入れ替わりが激しく、アレルギー対応が困難な中、学校との打合せを綿密に行い、大きな事故なくスムーズに実施できたことは評価できるが、自然教室でのプログラム提案までは至らなかった。 ④感染症対策については、学務課と協議しながら食堂の座席や部屋割り、消毒などきめ細やかな対応をし、自然教室期間中は感染者は発生しなかった。						
記 入 欄 評 価 委 員	【評価すべき点】感染対策徹底により、自然教室期間中にコロナの感染者発生がなかったことは評価できる。短い宿泊で、入れ替えの対応が困難な中、適切に対応できたことは評価できる。学校では実施できないキャンプファイヤーを2校が同時に行う場所があり、お互いの音を気にせず行うことができることはとても良い。 【改善すべき点】持参食の問題について、新たなチェックシート作成に加え、ダブルチェックを実施したり、記名したシールを貼るなど、繰り返さないような取組みを行ってほしい。 【その他注意点】アレルギー事故は命に関わることのため、より高い意識を持って取り組んで欲しい。						
(8) 利用 率 向 上 の 取 組 み	利用率向上の取組みがされているか		評価点				
		指定管理者	担当課	評価委員			
	①一般利用者の利用率が上がる自主企画の提案 ◆地域特性を活かしたプログラムの実施・新規プログラムの開拓 ◆利用者が少ない時期に利用者増を目的に実施する企画やサービス等の実施	3	4	4.0			
	②利用率向上に向けた情報発信 ◆SNS、広報等の活用等 ◆区民利用を促すための独自の広報戦略	3	4				
		計①	6			8	
		項目数②	2			2	
		評価点①÷②	3.0	4.0	(満点=5点)		
	指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】 ・冬休み期間に、「キャンプファイヤー」「折り紙教室」を3密を避け連泊のお客様が飽きないよう交互に実施。お客様から好評を頂いた。 ・休館中もSNSにて周辺情報の発信を行い利用率向上を図っている。(Twitter: 23回※月2回を目標に実施した)					
	区 記 入 欄	【改善すべき点・課題等】 SNS発信に関して、お客様の関心をひくような日光林間学園の料理や地元の美味しいお店の料理の写真を積極的に掲載し、お客様への情報発信と利用率向上の対応に努め発信を継続していく。					
	記 入 欄 評 価 委 員	【特記事項】 ①コロナ禍で休館も長く、自主企画の実施が難しい状況ではあったが、冬休みの子供向けキャンプファイヤーの実施などを工夫して行うことができた。 ②休館中も学園の料理や地元の美味しいお店の料理などを、定期的にSNSでの情報発信を行った。(合計23回)					
記 入 欄 評 価 委 員	【評価すべき点】休館中でも定期的にSNSでの情報発信を行い、実際にどんなことをしているのかを発信していることは素晴らしい。 【改善すべき点】せっかくのSNS発信なので、たくさんの方から視聴、閲覧してもらえる工夫をしてほしい。(Twitterにハッシュタグを付ける、インスタグラムでの投稿を検討するなど) 【その他注意点】特になし。						

大項目	中項目	確認項目					
2 事業 効果	(9) 利用の 状況	計画どおりの利用状況となっているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		①利用状況		3	3	3.0	
		◆年間利用者数（一般利用者の延べ数）					
		②施設稼働率		3	3		
		◆年間稼働率（一般利用者への開館日に対する稼働率）					
			計①	6	6	(満点=5点)	
			項目数②	2	2		
			評価点①÷②	3.0	3.0		
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>・「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が再度発令されたことによる、足立区からの休館の要請に従い休館対応を行った為、一般開放日は年間37日となり、年間を通して利用者数・稼働率ともに目標を下回った。（稼働について、4月は4日間、5月～9月末までは完全休館となり、10月は5日間、11月は6日間、12月は10日間、1月は6日間、3月は6日間となった）</p> <p>・年間の利用人数は1,294名・稼働率36.31%。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>今後の集客に努め、利用者数の増加と稼働率の向上に努めていきたい。</p>				
区記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>利用者数は前年比減、稼働率も低い水準となっているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う区の休館要請や、利用者の外出自粛などが主な要因と考えられるため、やむを得ないと考える。今後、コロナ終息後に利用者を取り戻すための方策が必要になる。</p>						
記入欄 評価委員	<p>【評価すべき点】 緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発令される中で、少ない開館日の中で利用者を確認し、対応を行った点が評価できる。</p> <p>【改善すべき点】 特になし。</p> <p>【その他注意点】 国の旅行施策が増えてくることが予想される中で、当館を旅行先として選んでもらうよう区民へのアプローチを検討されたい。</p>						
(10) 利用者の 満足度	利用者の満足を得られているか（×2）		評価点				
			指定管理者	担当課	評価委員		
	①従業員の接客態度		8	10	9.0		
	◆親切さ、説明のわかりやすさ、電話対応等、アンケート（従業員の対応）の評価						
	②施設・設備		6	10			
	◆施設の清潔さ、使いやすさ、案内サイン等、アンケート（客室・風呂）の評価						
	③食事		6	10			
	◆提供する内容、アンケート（食事の味や量）の評価						
	④苦情・要望対応		6	6			
	◆苦情・要望等の対応の適切さ・迅速さ						
	計①	26	36	(満点=10点)			
	項目数②	4	4				
	評価点①÷②	6.5	9.0				
指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>・一般開放時のアンケートでは令和3年度も良好な評価を頂いており、お客様に満足して頂けていると判断している。</p> <p>・R3年度のアンケートでのご要望・ご指摘・ご意見を頂いた点については、即座に支配人より担当者へ伝達の上、改善を図っている。</p> <p>・R3年度は年間を通じ利用者の方からの苦情は無く、ご満足いただいていると感じている。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>特になし。</p>						
区記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>利用アンケートにおいて、「大いに満足」＋「満足」の割合</p> <p>①従業員の接客態度：98.8% ②施設・設備：97.6% ③食事：96.2%と高い評価を得ているため、今後も継続してほしい。</p> <p>④苦情・要望対応は即時できることは対応している。指定管理者ができないことは区に報告している。</p>						
記入欄 評価委員	<p>【評価すべき点】 アンケートが全体的に高評価であり、特に食事については前年度より大幅に上昇しているため、今後も継続して欲しい。</p> <p>【改善すべき点】 スタッフとのコミュニケーションに関するコメントが少なく、名指しの高評価が少ないため、お客様とのコミュニケーションが減っている恐れあり。従業員のモチベーションを上げる仕組みを作るなど、改善してほしい。</p> <p>【その他注意点】 食堂のテーブルにQRコードがあると、集客や回収率が上がると思われる。</p>						

大項目	中項目	確認項目					
2 事業 効果	(1) 自然教室における学校の満足度	自然教室において学校の満足を得られているか(×2)		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員		
		①施設・運営 ◆教員・児童への対応、施設の清潔さ、学校からの実施報告書での評価等	8	10	8.0		
		②食事 ◆学校からの実施報告書による味付け・量・残菜等の評価	6	6			
		③児童のけが・病気への対応 ◆施設看護師の処置・手当て、病院への送迎等	6	8			
			計①	20	24	(満点=10点)	
			項目数②	3	3		
			評価点①÷②	6.7	8.0		
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・自然教室では、カレーの味付けに関し、指摘があり早急にスタッフ全員で試食会を開き見直し改善を行った。 ・自然教室の実施報告書では、各学校より概ね良好な評価を頂けた。引き続き事故の無いよう様々な面に気を配り対応していく。 【改善すべき点・課題等】 特になし。				
		区記入欄	【特記事項】 学校からの実施報告書より「大変よい」+「よい」の割合 ①施設・運営：98.5% ②食事：78.2% ③自然教室での児童のけが・病気に丁寧に対応し、病院への搬送や保護者の引き取り後に教員を見学場所まで送迎するなど、きめ細かい対応を行い、学校からの評価も高かった。				
記評価委員欄	【評価すべき点】 添加物を少なくして健康に配慮したり、指摘事項を早々に改善する姿勢は高く評価できる。児童の怪我や体調不良にもきめ細かい対応を行い、学校の高評価につながったため、今後も継続してほしい。 【改善すべき点】 時期により、飲み物の温度を上げるなど、対応を検討してほしい。 【その他注意点】 学校給食と比べられることもあるので、今後も食事の味付け等検討してほしい。						
		40.4 (満点=65点)	45.7 (満点=65点)	46.0 (満点=65点)			

評価委員 評価意見	コロナの影響で収益が伸びなかったが、利用者の満足度は高かったことは、会社としての取り組みや従業員への教育が行き届いていると思われる。SNS発信なども今後の期待が感じられた。自然教室に行く前の児童や家族に、現在の日光の様子や施設周辺の情報などが発信されると、集客にもつながると思われる。日光の良さを伝え、他との差別化を図り、このまま満足度の高い施設運営を行ってほしい。
--------------	---

【評価委員会評価結果】

評価委員会 評価結果	得点	評価
	46.0	B+

ランクダウン
有 (無)

総合評価
B+

※評価結果は評価委員会が行う。
 ※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【評価委員会評価基準】

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
65点	39点	59点以上	54点以上 58点以下	49点以上 53点以下	44点以上 48点以下	39点以上 43点以下	36点以上 38点以下	35点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」……評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
 ※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上げ）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨て）とする。

文教委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	足立区育英資金検討委員会の検討結果報告について																															
所管部課名	学校運営部学務課																															
内容	<p>令和4年9月6日、10月5日に足立区育英資金検討委員会を開催した。また、9月20日、10月26日の足立区育英資金審議会に検討委員会の検討状況を報告した。検討結果について以下のとおり報告する。</p> <p>1 検討内容</p> <p>(1) 貸与型を廃止し <u>給付型を新設</u> (対象も中間所得層まで拡充)</p> <p>(2) 返済支援助成の <u>対象者を拡充</u></p> <p>(3) 教育資金 <u>相談業務の体制を強化</u></p> <p>2 検討結果</p> <p>(1) 給付型奨学金の新設について (詳細はP47～50) 現在の育英資金制度と新制度の違いは下表のとおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 40%;">現在の育英資金制度</th> <th style="width: 45%;">新・育英資金制度 (案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 種別</td> <td>無利子の貸付</td> <td>給付 (返済不要)</td> </tr> <tr> <td>イ 対象</td> <td>低所得層 (年収目安 500 万円)</td> <td>中間所得層まで (年収目安 800 万円)</td> </tr> <tr> <td>ウ 金額</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">公立</td> <td>月額：35 千円 入学料：200 千円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>月額：45 千円 入学料：300 千円</td> </tr> </table> </td> <td> 入学料・授業料・施設整備費 全額 ※ 上限あり </td> </tr> <tr> <td>エ 貸付・給付例</td> <td>私立理系大学の場合 4年総額：2,460 千円</td> <td>私立理系大学の場合 4年総額：5,530 千円</td> </tr> <tr> <td>オ 人数</td> <td> 応募人数：80 名 (令和4年度実績) 採用人数：29 名 貸付総数：144 名 (累計) </td> <td> 応募人数：20 名 給付総数：80 名 (20 名×4 年間の見込) </td> </tr> <tr> <td>カ 連帯保証人</td> <td>2 名必要</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>キ 学業成績</td> <td>3.1 以上 (5 段階評価)</td> <td>4.0 以上 (5 段階評価)</td> </tr> <tr> <td>ク 年間経費</td> <td> (令和3年度実績) 貸付額：84,428 千円 償還額：66,859 千円 差引額：17,569 千円 </td> <td> 給付額：110,600 千円 ※ 80 名で試算 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	現在の育英資金制度	新・育英資金制度 (案)	ア 種別	無利子の貸付	給付 (返済不要)	イ 対象	低所得層 (年収目安 500 万円)	中間所得層まで (年収目安 800 万円)	ウ 金額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">公立</td> <td>月額：35 千円 入学料：200 千円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>月額：45 千円 入学料：300 千円</td> </tr> </table>	公立	月額：35 千円 入学料：200 千円	私立	月額：45 千円 入学料：300 千円	入学料・授業料・施設整備費 全額 ※ 上限あり	エ 貸付・給付例	私立理系大学の場合 4年総額：2,460 千円	私立理系大学の場合 4年総額：5,530 千円	オ 人数	応募人数：80 名 (令和4年度実績) 採用人数：29 名 貸付総数：144 名 (累計)	応募人数：20 名 給付総数：80 名 (20 名×4 年間の見込)	カ 連帯保証人	2 名必要	不要	キ 学業成績	3.1 以上 (5 段階評価)	4.0 以上 (5 段階評価)	ク 年間経費	(令和3年度実績) 貸付額：84,428 千円 償還額：66,859 千円 差引額：17,569 千円	給付額：110,600 千円 ※ 80 名で試算
項目	現在の育英資金制度	新・育英資金制度 (案)																														
ア 種別	無利子の貸付	給付 (返済不要)																														
イ 対象	低所得層 (年収目安 500 万円)	中間所得層まで (年収目安 800 万円)																														
ウ 金額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">公立</td> <td>月額：35 千円 入学料：200 千円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>月額：45 千円 入学料：300 千円</td> </tr> </table>	公立	月額：35 千円 入学料：200 千円	私立	月額：45 千円 入学料：300 千円	入学料・授業料・施設整備費 全額 ※ 上限あり																										
公立	月額：35 千円 入学料：200 千円																															
私立	月額：45 千円 入学料：300 千円																															
エ 貸付・給付例	私立理系大学の場合 4年総額：2,460 千円	私立理系大学の場合 4年総額：5,530 千円																														
オ 人数	応募人数：80 名 (令和4年度実績) 採用人数：29 名 貸付総数：144 名 (累計)	応募人数：20 名 給付総数：80 名 (20 名×4 年間の見込)																														
カ 連帯保証人	2 名必要	不要																														
キ 学業成績	3.1 以上 (5 段階評価)	4.0 以上 (5 段階評価)																														
ク 年間経費	(令和3年度実績) 貸付額：84,428 千円 償還額：66,859 千円 差引額：17,569 千円	給付額：110,600 千円 ※ 80 名で試算																														

	<p>(2) 返済支援助成の対象者拡充について 「国の給付型」との <u>併用を可とすることで対象者を拡充する</u>。 また、「区の給付型」不採用となった学生への救済策にもなる。</p> <p>※ 返済支援助成とは、条件を満たした場合に借入総額の半額（上限100万円）を助成する制度。条件は「正規の年限で卒業すること」、「足立区に住民税を2年度分納税すること」の2つ。</p> <p>(3) 教育資金相談業務の体制強化について（詳細はP51） ア 出張説明会（足立区奨学金アドバイザー派遣事業）の周知強化 イ 進学・修学資金に関する個別相談会の回数・対象者の拡充 ウ 教育資金コンシェルジュについて、民間金融機関と連携する エ 奨学金制度の情報提供に特化したHP新設等による周知強化</p> <p>3 検討委員会での主な意見</p> <p>(1) 今まであきらめていた所得の低い人も医療系を目指せる内容であり非常に良い (2) さまざまな状況を抱える生徒にはありがたい制度である (3) 応募が多数となることが予想されるので、審査についてはくれぐれも公平性を担保するように</p> <p>4 審議会での主な意見</p> <p>(1) 手厚い制度だが、20人は狭き門と感じる、人数を拡大できないか (2) 成績が4.0以上とあるが、将来的に成績要件の緩和も考えてほしい (3) この制度が定着するならば、目標と考える生徒もあるのではないか</p>
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月24日、教育委員会（臨時会）に条例改正の議案を提出する ・ 4定（文教委員会）に条例改正の議案を提出する

足立区給付型奨学金について（案）

1 概要

在学期間の授業料・入学金・施設整備費全額を給付する。詳細は以下のとおり。

※ 上限額は文部科学省で公表している平均額の1.5倍とする。

(1) 採用人数：20名

(2) 成績要件：4.0以上（5段階評価）及び「学習計画表」等の提出

(3) 年収目安：800万円以下（4人世帯）

※ 国の給付等を受けている場合、その金額を差し引く（P48参照）。

2 給付額について

必要金額を全額給付するため、国公立・私立、文系・理系という区分を超越した「オーダーメイド型の給付金」となる。金額目安は下表のとおり。

【参考1】私立大学の年間授業料、入学料、施設整備費（年額）

区分	授業料	入学料	施設整備費	合計
私立文系	815,069円	225,651円	148,272円	1,188,992円
私立理系	1,136,074円	251,029円	179,159円	1,566,262円
私立医歯系	2,882,894円	1,076,278円	931,367円	4,890,539円
私立その他	969,074円	254,836円	235,702円	1,459,612円
私立平均	930,943円	245,951円	180,186円	1,357,080円

※ 文部科学省「令和3年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額の調査結果について」より

【参考2】国公立大学の年間授業料、入学料、施設整備費（年額）

区分	授業料	入学料	施設整備費	合計
国立大学	535,800円	282,000円	0円	817,800円

※ 文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」より

※ 文系・理系の区分なし

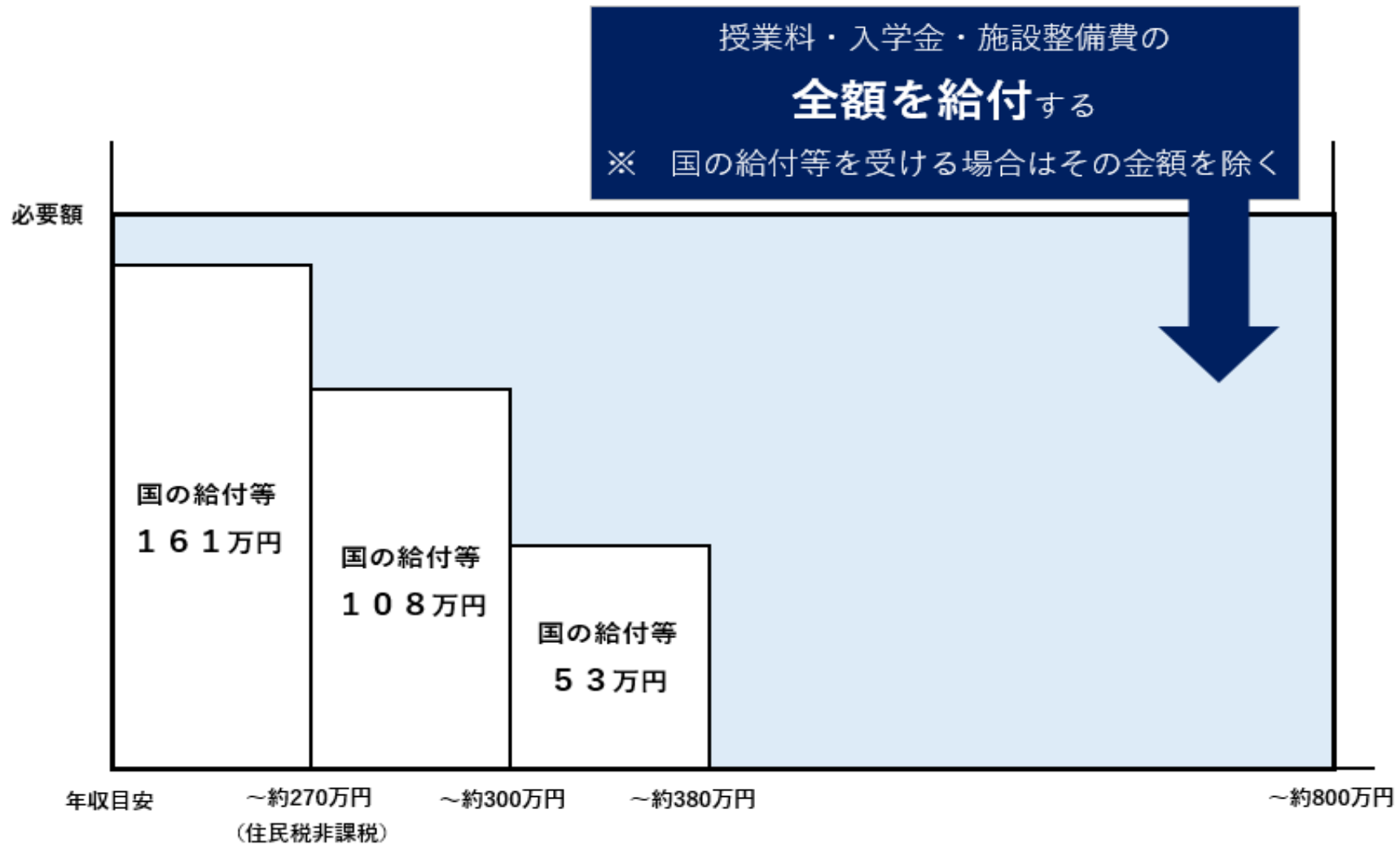
3 その他

(1) 育英資金基金のシミュレーションについて

全員私立理系を想定し試算したところ、令和20年度まで問題なし。

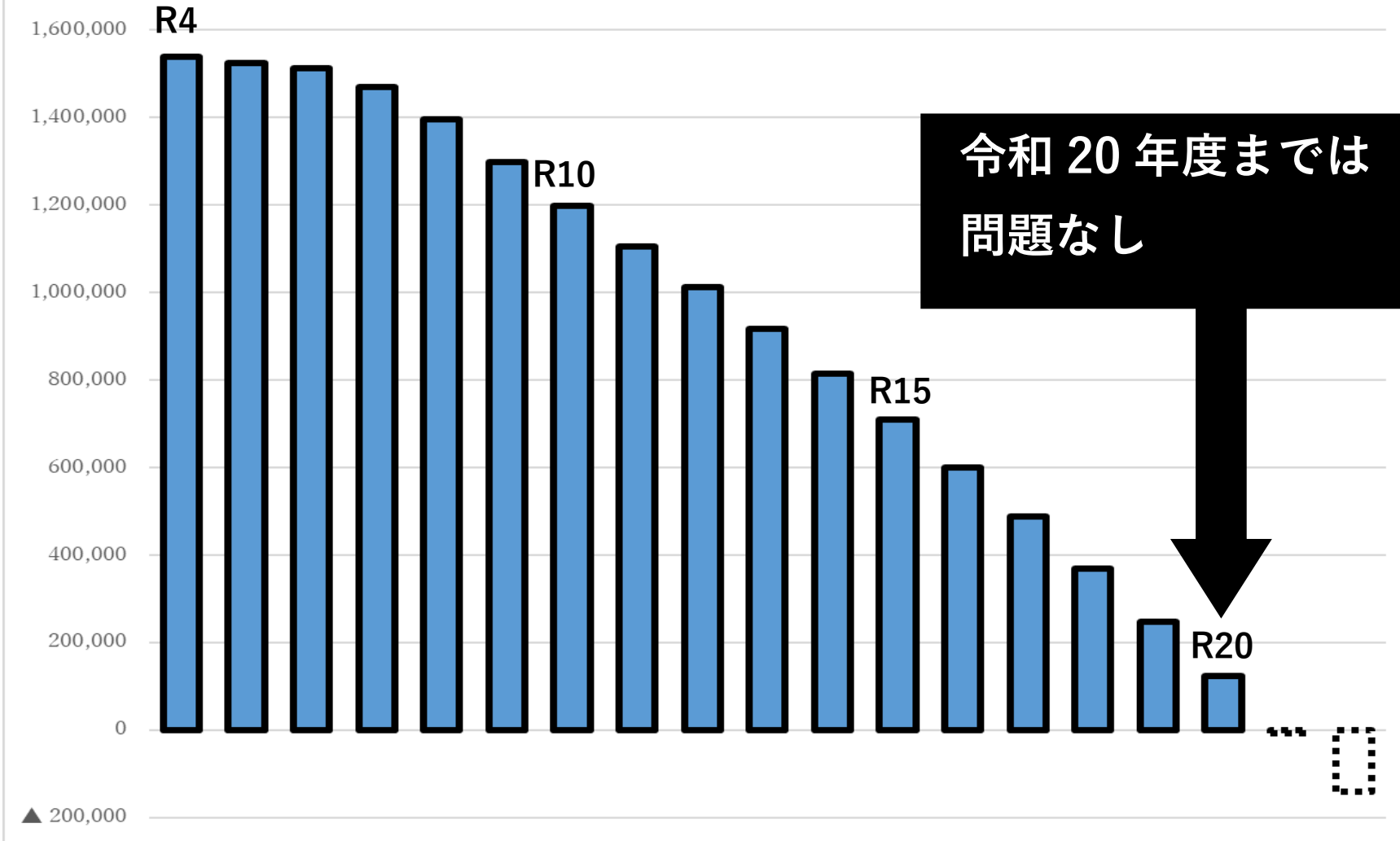
※ 競馬組合分配金は2億円で計算

給付イメージ（案）



※ 世帯年収：両親・本人・中学生の家族4人世帯の場合の目安

基金シミュレーション (競馬 2 億円)



育英資金積立基金と歳入歳出の推移（想定）

1 基金残額（令和4年4月1日現在）

1,540,081 千円

基金残額の見通し

単位：千円

基金残額	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
	1,540,081	1,523,817	1,513,734	1,470,698	1,396,024	1,299,238	1,199,240	1,106,051	1,013,193	916,232

2 令和3年以降の10年間の歳入歳出状況

差引額【（1）歳入－（2）歳出】

差引額	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
	▲ 16,264	▲ 10,083	▲ 43,036	▲ 74,674	▲ 96,786	▲ 99,998	▲ 93,189	▲ 92,858	▲ 96,961	▲ 101,064

（1）歳入『基金への積立額』

制度名等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
奨学金償還（現年分）	61,548	61,548	61,548	61,548	61,548	61,548	57,445	53,342	49,239	45,136
積立（競馬）	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
計	261,548	261,548	261,548	261,548	261,548	261,548	257,445	253,342	249,239	245,136

【補足説明】

（ア）競馬積立は2億円で積算。（イ）寄付金・ジェイコム株は変動するため計上していない。

（2）歳出『基金の取崩し額』

制度名等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
奨学金貸付	78,292	47,316	31,544	15,772	—	—	—	—	—	—
奨学金返済支援助成	9,000	37,000	50,000	70,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
一部償還免除	1,080	315	9,640	10,650	12,134	15,346	4,434	—	—	—
高校等入学準備助成	155,600	155,600	155,600	155,600	155,600	155,600	155,600	155,600	155,600	155,600
【コロナ対策】 返済免除付貸付	19,800	—	—	—	—	—	—	—	—	—
【コロナ対策】 特別貸付	14,040	—	—	—	—	—	—	—	—	—
【新制度】 給付型奨学金	—	31,400	57,800	84,200	110,600	110,600	110,600	110,600	110,600	110,600
計	277,812	271,631	304,584	336,222	358,334	361,546	350,634	346,200	346,200	346,200

【補足説明】

（ア）奨学金返済支援助成は、条件があるため歳出年度は異なる。（イ）一部償還免除は現在募集を行っていない。なお、最短で令和11年度で終了見込

（ウ）コロナ対策は継続可能性あり。（エ）新制度は「理系平均額×人数」で積算（年間20人、開始4年後である令和8年度以降は80人〔最大〕で推移）

教育資金の相談業務について（案）

業務	現 行	新規・拡充	備考
1 出張説明会 （足立区奨学金 アドバイザー 派遣事業）	区内高等学校を対象に足立区奨学金アドバイザーを派遣（全校に通知し実施） 実績：令和3年度・4年度 → 都立足立高等学校	区内高等学校 <u>全校で実施に向け周知</u> する。	令和5年度の全校での利用に向け、令和4年度中に学校に直接出向き本事業のPRを実施する。
2 個別相談	進学の資金に関する個別相談会 【対象】 足立区在住の進学を考えている高校生とその保護者 【実施時期】 10月頃の土曜日 1回／年 【定員】 12組程度 予約制		教育資金コンシェルジュ（仮称）の設置を検討していく。
		進学・修学の資金に関する個別相談会 【対象】 足立区在住の大学生・短期大学生・専門学校生（在学生）など 【実施期間】 11～2月 1回／月 土日・平日夕方 【定員】 3組程度 予約制	区内の大学等に周知する。 令和5年度の利用状況を見て順次拡大する。
3 周知の強化	【出張説明会の周知】 各校に案内を送付 【個別相談会】 区広報、区ホームページ 学務課助成係で育英資金などの奨学金の紹介をしているが、奨学金の窓口であることの周知が不足している。	【出張説明会の周知】 区内高校に直接出向きPR 【個別相談会】 豆の木メール、SNSの活用	
		奨学金制度の情報提供に特化したホームページを新設し、奨学金の相談窓口等の案内を行う。	

文教委員会報告資料

令和4年11月14日

件名	「足立区子ども・子育て支援事業計画」の令和3年度評価について												
所管部課名	子ども家庭部子ども政策課												
内容	<p>第2期「足立区子ども・子育て支援事業計画」の令和3年度実績について1次～3次評価を実施し、別添資料2のとおり施策評価表として取りまとめたため報告する。</p>												
	<p>1 評価の方法</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価者(機関)</th> <th>評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次評価</td> <td>担当課</td> <td>自己評価</td> </tr> <tr> <td>2次評価</td> <td>子ども家庭部</td> <td>達成率、効果、方向性</td> </tr> <tr> <td>3次評価</td> <td>足立区地域保健福祉推進協議会 (子ども支援専門部会含む)</td> <td>外部評価</td> </tr> </tbody> </table>		評価者(機関)	評価内容	1次評価	担当課	自己評価	2次評価	子ども家庭部	達成率、効果、方向性	3次評価	足立区地域保健福祉推進協議会 (子ども支援専門部会含む)	外部評価
		評価者(機関)	評価内容										
	1次評価	担当課	自己評価										
2次評価	子ども家庭部	達成率、効果、方向性											
3次評価	足立区地域保健福祉推進協議会 (子ども支援専門部会含む)	外部評価											
<p>2 令和3年度施策毎の評価概要 (5点満点)</p>													
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>施策群1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む</td> <td>3次評価</td> </tr> <tr> <td> 【施策1-1】子どもの心身の健全な発達の支援 ・ あだちはじめてえほん事業では、引換施設の一時休館が影響し、絵本を引き換える機会が減ったが「あだち電子図書館」の利用を促進し、本に親しむ機会の確保に努めた。 </td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> 【施策1-2】就学前からの学びの基礎づくり ・ コロナ禍で教育・保育施設への巡回訪問が厳しい時期に、架電により、保育環境や保育上の配慮などを助言し、教育・保育内容の質の維持・向上に努めた。 </td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> 【施策1-3】特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実 ・ 保健所で保護者と心理士との個人面談を多く実施し、子どもの発達に応じた助言を行うことで保護者の気づきと理解につながり、適切に関係機関へつなぐことができた。 </td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> 【施策1-4】子どもが社会と関わる力を育むための成長支援 ・ コロナ禍であっても対面とオンラインを併用して各大学の特色を生かした大学連携プログラムを提供したり、パラスポーツ体験を実施するなど、体験機会や他者理解の充実を図った。 </td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	施策群1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む	3次評価	【施策1-1】子どもの心身の健全な発達の支援 ・ あだちはじめてえほん事業では、引換施設の一時休館が影響し、絵本を引き換える機会が減ったが「あだち電子図書館」の利用を促進し、本に親しむ機会の確保に努めた。	4	【施策1-2】就学前からの学びの基礎づくり ・ コロナ禍で教育・保育施設への巡回訪問が厳しい時期に、架電により、保育環境や保育上の配慮などを助言し、教育・保育内容の質の維持・向上に努めた。	4	【施策1-3】特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実 ・ 保健所で保護者と心理士との個人面談を多く実施し、子どもの発達に応じた助言を行うことで保護者の気づきと理解につながり、適切に関係機関へつなぐことができた。	4	【施策1-4】子どもが社会と関わる力を育むための成長支援 ・ コロナ禍であっても対面とオンラインを併用して各大学の特色を生かした大学連携プログラムを提供したり、パラスポーツ体験を実施するなど、体験機会や他者理解の充実を図った。	4			
施策群1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む	3次評価												
【施策1-1】子どもの心身の健全な発達の支援 ・ あだちはじめてえほん事業では、引換施設の一時休館が影響し、絵本を引き換える機会が減ったが「あだち電子図書館」の利用を促進し、本に親しむ機会の確保に努めた。	4												
【施策1-2】就学前からの学びの基礎づくり ・ コロナ禍で教育・保育施設への巡回訪問が厳しい時期に、架電により、保育環境や保育上の配慮などを助言し、教育・保育内容の質の維持・向上に努めた。	4												
【施策1-3】特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実 ・ 保健所で保護者と心理士との個人面談を多く実施し、子どもの発達に応じた助言を行うことで保護者の気づきと理解につながり、適切に関係機関へつなぐことができた。	4												
【施策1-4】子どもが社会と関わる力を育むための成長支援 ・ コロナ禍であっても対面とオンラインを併用して各大学の特色を生かした大学連携プログラムを提供したり、パラスポーツ体験を実施するなど、体験機会や他者理解の充実を図った。	4												

	<p style="text-align: right;">(5点満点)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%; padding: 5px;">施策群 2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える</td> <td style="width: 30%; text-align: center; padding: 5px;">3次評価</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>【施策 2-1】 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育コンシェルジュはオンライン相談を開始したことで、利用者が増加した。保育サービス以外の育児や発育の悩みを気軽に相談でき、必要な相談先につなぐ場として機能してきており、さらなる充実を期待する。 </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>【施策 2-2】 子育てと仕事の両立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育室を新たに3室開設し122人の受け入れを増やした。いまだ待機児童が多い地区があることから、整備計画に基づき、申請状況等の実績を踏まえ今後も整備を進めてほしい。 </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>【施策 2-3】 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各事案が複雑かつ多様化し、継続的支援が必要な家庭が増加している。解決に向けてはこれまで以上に関係機関と連携し、養育支援を行ってほしい。 ・ コロナ禍で変化した働き方やニーズに合った資格取得等を後押しするため、今後はPC講座を増やすなどメニューを拡大し、正規就労者が増えることを期待する。 </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">3</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>【施策 2-4】 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画配信を活用したユニバーサルデザインの普及啓発活動など、工夫して取り組んだ。 </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">5</td> </tr> </table>	施策群 2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える	3次評価	<p>【施策 2-1】 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育コンシェルジュはオンライン相談を開始したことで、利用者が増加した。保育サービス以外の育児や発育の悩みを気軽に相談でき、必要な相談先につなぐ場として機能してきており、さらなる充実を期待する。 	4	<p>【施策 2-2】 子育てと仕事の両立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育室を新たに3室開設し122人の受け入れを増やした。いまだ待機児童が多い地区があることから、整備計画に基づき、申請状況等の実績を踏まえ今後も整備を進めてほしい。 	4	<p>【施策 2-3】 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各事案が複雑かつ多様化し、継続的支援が必要な家庭が増加している。解決に向けてはこれまで以上に関係機関と連携し、養育支援を行ってほしい。 ・ コロナ禍で変化した働き方やニーズに合った資格取得等を後押しするため、今後はPC講座を増やすなどメニューを拡大し、正規就労者が増えることを期待する。 	3	<p>【施策 2-4】 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画配信を活用したユニバーサルデザインの普及啓発活動など、工夫して取り組んだ。 	5
施策群 2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える	3次評価										
<p>【施策 2-1】 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育コンシェルジュはオンライン相談を開始したことで、利用者が増加した。保育サービス以外の育児や発育の悩みを気軽に相談でき、必要な相談先につなぐ場として機能してきており、さらなる充実を期待する。 	4										
<p>【施策 2-2】 子育てと仕事の両立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育室を新たに3室開設し122人の受け入れを増やした。いまだ待機児童が多い地区があることから、整備計画に基づき、申請状況等の実績を踏まえ今後も整備を進めてほしい。 	4										
<p>【施策 2-3】 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各事案が複雑かつ多様化し、継続的支援が必要な家庭が増加している。解決に向けてはこれまで以上に関係機関と連携し、養育支援を行ってほしい。 ・ コロナ禍で変化した働き方やニーズに合った資格取得等を後押しするため、今後はPC講座を増やすなどメニューを拡大し、正規就労者が増えることを期待する。 	3										
<p>【施策 2-4】 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画配信を活用したユニバーサルデザインの普及啓発活動など、工夫して取り組んだ。 	5										
<p>問題点 今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度毎に各施策の実績を評価し、改善を図っていく。 ・ 施策評価表については、議会報告後、区ホームページで公表予定 										

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和4年11月14日

件 名	都内23区における特別支援教育支援員対象の研修状況調査の報告について																								
所管部課名	こども支援センターげんき支援管理課																								
内 容	<p>特別支援教育支援員の対応力向上を図るために都内23区の研修状況の調査を行い、調査結果を報告する。</p> <p>※ 特別支援教育支援員（以下、「支援員」という）とは、足立区におけるスクールアシスタントのこと。</p> <p>1 調査対象区 都内23区（全区より回答あり）</p> <p>2 日常介助や安全確保等の支援制度（支援員）の有無 (1) あり 23区</p> <p>ア 支援員の登録数 足立：156名</p> <table border="1" data-bbox="507 1021 1417 1570"> <thead> <tr> <th>登録人数</th> <th>0～</th> <th>50～</th> <th>70～</th> <th>90～</th> <th>110～</th> <th>130～</th> <th>150～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当区数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>該当区名</td> <td>北</td> <td>豊島 世田谷</td> <td>千代田 港 新宿 渋谷 杉並 板橋 葛飾</td> <td>台東 中野</td> <td>文京 荒川</td> <td>中央</td> <td>足立 江東 品川 目黒 練馬 江戸川</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 大田、墨田は支援員の登録制は行っていない。必要が生じる度に募集している。</p>	登録人数	0～	50～	70～	90～	110～	130～	150～	該当区数	1	2	7	2	2	1	6	該当区名	北	豊島 世田谷	千代田 港 新宿 渋谷 杉並 板橋 葛飾	台東 中野	文京 荒川	中央	足立 江東 品川 目黒 練馬 江戸川
登録人数	0～	50～	70～	90～	110～	130～	150～																		
該当区数	1	2	7	2	2	1	6																		
該当区名	北	豊島 世田谷	千代田 港 新宿 渋谷 杉並 板橋 葛飾	台東 中野	文京 荒川	中央	足立 江東 品川 目黒 練馬 江戸川																		

イ 研修の形態と実施回数

足立：集合研修と個別研修、年2回実施

形態 回数	個別研修	集合研修	集合・個別	なし	回数別の 区数
0回				2	2
1回	1	6			7
2回		3	5		8
3回		2	1		3
4回		1			1
形態別の区数	1	1 2	6	2	21(※)
該当区名	練馬	千代田 新宿 江東 大田 杉並 荒川	中央 台東 品川 世田谷 豊島 江戸川	文京 渋谷 板橋 目黒 中野 足立	墨田 葛飾

※ 港、北は委託事業者で研修を実施しており、実施回数等の回答はなかった。

ウ 主な研修内容

足立：公務員倫理、支援方法、職務管理

主な研修内容	区数	該当区名
支援方法や役割などに関する事	16	足立 千代田 中央 港 文京 台東 品川 目黒 大田 世田谷 渋谷 中野 杉並 荒川 板橋 江戸川
職務に関する事	7	足立 港 新宿 江東 中野 豊島 板橋
公務員倫理に関する事	5	中央 江東 杉並 練馬 江戸川
区の特別支援教育制度に関する事	5	千代田 文京 品川 杉並 豊島

今後の方針

- 支援員（スクールアシスタント）が、様々な子どもたちに対応できるように、学校の中で起こりうる場面などを題材にした、より実践的な研修内容に変更し、支援員（スクールアシスタント）の対応力の向上を図っていく。
- 研修回数は、現在の2回から3回に増やすとともに、必要に応じて支援管理課より心理士や指導主事を学校に派遣し、直接支援員（スクールアシスタント）を指導・助言していく。